

第3章 本市における地域の生活課題とその対応

3-1 モデル地区における検討

3-1-1 モデル地区選定の考え方

社会福祉協議会の地区座談会実施済地域を除く 22 地区より、次の視点で 6 地区を選定した。

①地理的条件や生活環境の多様性

- ・ 市街地と中山間地域及び島しょ部といった地理的条件や生活環境の異なる地域をリストアップし、そこに賦存する社会資源や生活課題の内容について違いが見られるかどうかを検証する。

②社会条件が変化することによる地域への影響

- ・ 少子高齢化、核家族化、都市計画において農村地域から急速に都市化が進んだ地域を選定し、社会条件の変化が住民どうしのつながりやコミュニティの形成にどのような影響を与えているのかを考察する。(日高地区)

③合併効果による連携強化のあり方

- ・ 上浦、大三島地域では、両地域を跨いだ山火事の際の消火活動など「支え手」減少のなか、合併のスケールメリットを活かし、旧行政区域を越えた連携強化がますます必要とされる。この調査を通じ現存する共助・つながりや他圏域との交流などを活かしていく方向性を探る。(上浦地区、大三島地区)

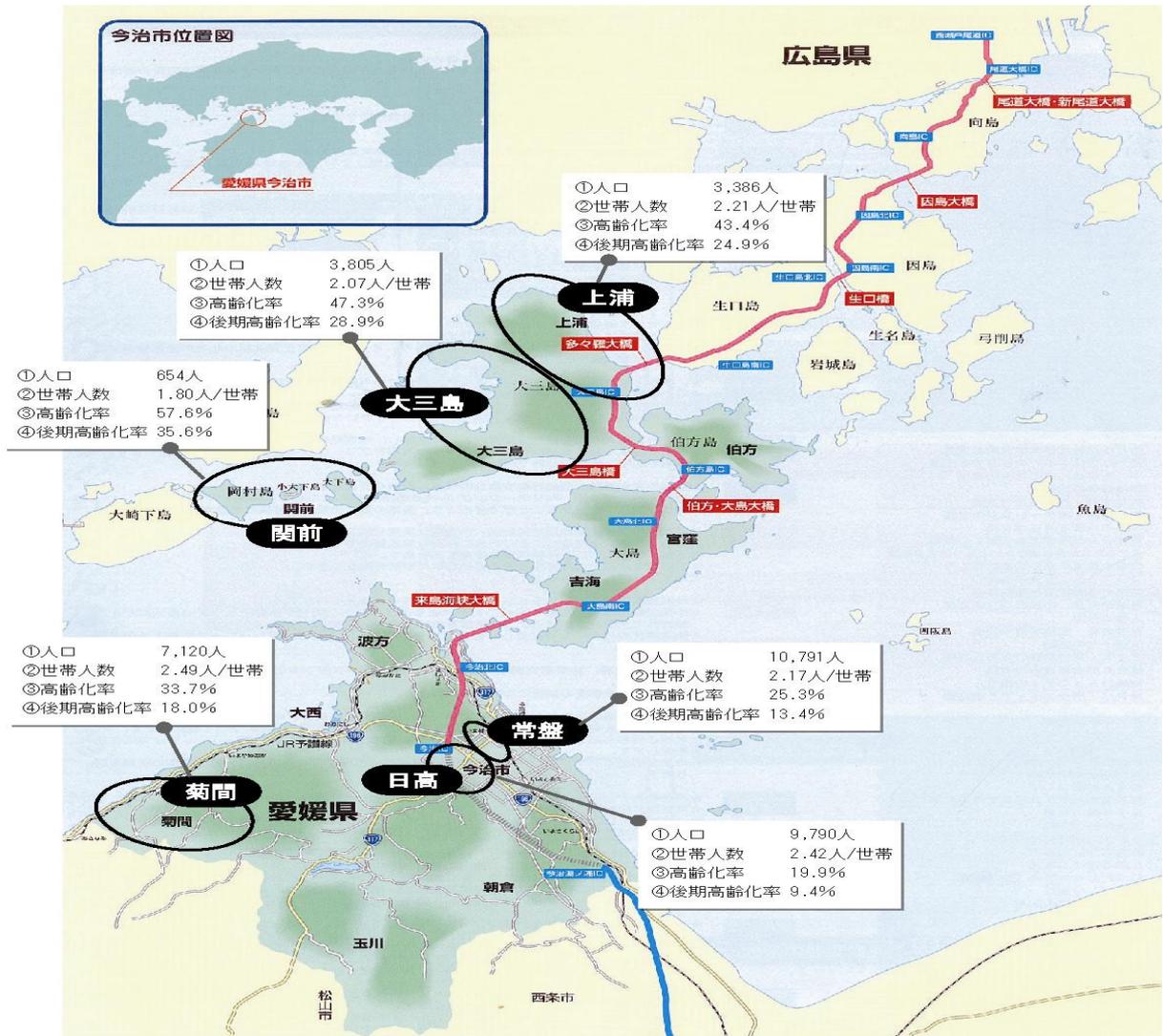
④共助や他圏域との交流などを活かした福祉施策の検討

- ・ 本庁、支所間の職員交流により「顔見知りの行政サービス」提供から大きく環境が変わってきている。阪神淡路大震災にみられるように、災害時には近隣住民同士の助け合いにより生存者の救出が多く行われている。また、大規模災害時には行政職員が被災者になる可能性も高く、普段からの近隣住民同士の緊密なつながりが必要とされる。
- ・ 地方祭などの伝統行事の伝承にみられる地域コミュニティのつながりが現在も維持されている地区における検討により、現存する共助や他圏域との交流などを活かした福祉施策の方向性を探る。

今後、本研究のテーマに関する住民同士の「共助」の部分が大切となってくる。各モデル地区内では、地域の伝統行事の維持などを通じ、大切にされてきた住民共助活動・つながりが色濃く残っている。このつながりは、今後急速に進行するであろう少子高齢化、人口減少のなかで、大きな役割を果すであろうと予測される。

特に、菊間・上浦・大三島・関前地区は、他圏域と接し、歴史的にも交流があり、それを今後有効活用できる可能性もある。合併後の今治圏域内はもちろんのこと、上浦・大三島・関前地区にあっては広島圏域、菊間地区にあっては松山圏域との交流をも含めた施策の展開も考えられ、現存する共助・つながりや他圏域との交流などを活かしていく方向性を探り、新今治市としての福祉施策の展開を検討した。

図表 3-1 モデル地区の位置と概況



図表 3-2 モデル地区の人口、高齢化率等

		旧今治市内		旧越智郡陸地部	旧越智郡島しょ部		
		常盤	日高	菊間	上浦	大三島	関前
人口	H15.3.31	11,204人	9,442人	7,741人	3,710人	4,261人	858人
	H20.3.31	10,791人	9,790人	7,120人	3,386人	3,805人	654人
	増減	▲3.7%	3.7%	▲8.0%	▲8.7%	▲10.7%	▲23.8%
世帯人数 (人/世帯)	H15.3.31	2.21	2.53	2.68	2.44	2.17	1.94
	H20.3.31	2.17	2.42	2.49	2.21	2.07	1.80
高齢化率	H15.3.31	23.5%	17.3%	30.3%	39.6%	45.6%	50.5%
	H20.3.31	25.3%	19.9%	33.7%	43.4%	47.3%	57.6%
後期高齢化率	H15.3.31	10.8%	7.7%	15.0%	19.6%	24.1%	28.6%
	H20.3.31	13.4%	9.4%	18.0%	24.9%	28.9%	35.6%

3-1-2 モデル地区の概況

3-1-2-① 常盤地区

【地区特性】

旧今治市内の市街地のほぼ中心に位置する。JR 今治駅を含み、公立・私立高等学校が集中し、また、中央図書館なども立地する文教地区でもある。居住環境や教育環境に恵まれているところから、マンションなどの集合住宅も多い。基本的には、住宅・商業地域である。地区全体として、旧町村を上回る人口規模を有しているが、高齢化とあわせ核家族化も進んでいる。

【地域資源】

常盤地区 地域資源1

項目	種別	福祉関係			
		高齢者	障害者(児)	子育て支援	その他
各種団体	資源的	常盤校区社会福祉協議会 今治支部老人クラブ連合会(常盤校区) 在宅介護支援センターかとれあ・愛らんど		児童クラブ	保護司会
	資源的			ぷーさんクラブ(子育て支援) (月2回,23組・46人参加)	
人材	資源的	民生委員・児童委員:22人 うち、主任児童委員:2人 保健師:1人 見守り推進委員:14人 コミュニティソーシャルワーカー:1人		常盤小PTA役員 日吉中PTA役員 保育所父母の会役員	保護司
	資源的	ボランティア指導者 NPO指導者			
活動拠点・施設関係	資源的	在宅介護支援センターかとれあ ファミリーサポートセンター		常盤保育所 常盤小学校 日吉中学校 常盤小運動会 まほろば2000in tokiwa (小学校PTA主催) いまばりファミリーサポートセンター	今治西高校 今治北高校 今治南高校 今治明德高校 今治精華高校
	資源的			精華幼稚園	
地域の行事・祭り	資源的	常盤地区敬老会			
	資源的				
地域の見守り・互助体制、災害等緊急時の対応の仕組み	資源的	一人暮らしの高齢者見守り制度 民生委員訪問活動 配食サービス制度	民生委員訪問活動	民生委員訪問活動 青色灯装着車両による防犯活動	駅前交番
	資源的				コンビニ 1軒

地域資源2

項目	種別	保健・医療関係	住民自治関係	社会教育関係	地域振興関係	文化・スポーツ関係
各種団体	資公源的		常盤地区自治会	常盤小PTA 日吉中PTA 常盤校区婦人会 常盤公民館主催事業 (料理-1 教育-1)		
	資私源的			常盤小PTA 常盤公民館自主講座 (文芸-3 語学等-1 趣味創作-6 音楽-15 舞踊-4 茶華道-1 料理-1 レクリエーション-1 教育-2 健康-2 スポーツ-7) 今治こども安心パトロール隊 公民館職員: 3人		体育文化振興会 各種スポーツ団体 各種文化団体 小学校 図書ボランティア
人材	資公源的					
	資私源的			今治こども安心パトロール隊役員		
活動拠点・施設関係	資公源的			常盤公民館 集会所	公民館	公民館
	資私源的	病院:8箇所 (内・胃・消・呼・心・循・ア・外・整・眼・耳・泌・リ・放) 一般診療所:8箇所 (内・循・精神・神・小・産婦・ア・外・眼・耳・気・麻) 歯科診療所:8箇所	こどもたるとみこし行進(5月) きんぎょすくい(7月) カウントダウン実行委員会(12月)			民間プール
地域の行事・祭り	資公源的	健診 健康相談 健康教育 家庭訪問	住民運動会(5月) 敬老会(10月)	住民運動会 納涼祭り 地区文化祭 子育て学級 児童体験教室		住民運動会(5月)
	資私源的	健康まつり	納涼まつり(7月) おんまぐ(8月) 文化祭(11月) もちつき大会(12月)	健康教室		
地域の見守り・互助体制、災害等緊急時の対応の仕組み	資公源的		夜間の校区内補導 (月に1~2回小中PTA と地域の大人)			
	資私源的		自主防災組織(2)			

※公民館主催事業・自主講座については、平成20年9月末現在のデータ

- (1) 本表は調査段階の資料であって、現に存在する地域資源のすべてを網羅するものではありません。
(2) 本表は情報の収集・提供を目的としているため、団体名等について可能な部分は実名で表記しています。

3-1-2-② 日高地区

【地区特性】

旧今治市において、かつては市街地の後背に位置する農村地帯であったが、一般国道 196 号のバイパス化並びに瀬戸内しまなみ海道と県都松山市を結ぶ一般国道 317 号の整備により近年、急速に市街化の進んだ地域である。道路網の便利さにより郊外型店舗の立地も多く、地区内には当市の大型プロジェクトである新都市開発整備事業（第 1 地区）も進行中であり、大型商業施設の出店も計画されている。今後も人口増加が期待できる地域である。

【地域資源】

日高地区 地域資源1

項目	種別	福祉関係			
		高齢者	障害者(児)	子育て支援	その他
各種団体	資公源的	日高校区社会福祉協議会 今治支部老人クラブ連合会(日高校区)		日高小PTA 西中PTA 児童クラブ	母子会 保護司会
	資私源的	今治福祉施設協会 なごみの会		鳩サブレ(サークル)	別名一日会
人材	資公源的	民生委員・児童委員:12人 うち、主任児童委員:2人 保健師:1人(市)			
	資私源的	見守り推進委員:5人 コミュニティソーシャルワーカー:1人		日高小PTA役員 西中PTA役員	保護司
活動拠点・施設関係	資公源的	在宅介護支援センターシルビウス 老人陽だまりの部屋		日高保育所 日高小学校 西中学校	今治南高校 農業科
	資私源的	日高荘 なごみ苑 シルビウス ほっとやまうち	地域活動支援センターらぼーる	いずみ幼稚園	
地域の行事・祭り	資公源的	日高地区敬老会 給食サービス(年間9回) 配食サービス(年間1回) 学習活動(老人料理教室)			
	資私源的				
地域の見守り・互助体制、災害等緊急時の対応の仕組み	資公源的	民生委員訪問活動 一人暮らしの高齢者見守り制度 配食サービス制度	民生委員訪問活動	民生委員訪問活動 青色灯装着車両による防犯活動	日高交番
	資私源的				コンビニ 5軒

地域資源2

項目	種別	保健・医療関係	住民自治関係	社会教育関係	地域振興関係	文化・スポーツ関係
各種団体	資公 源的		日高地区自治会 総代会 消防団 日高地区防犯協会 日高公民館	日高小PTA 西中PTA		日高体育振興会
	資私 源的			日高公民館自主講座 (学術-1 文芸-1 趣味創作-4 音楽-4 舞踊-4 演劇-2 茶華道-2 料理-1 教育-1 健康-4 スポーツ-3) 日高補導会		各種スポーツ団体 各種文化団体
人材	資公 源的		日高地区自治会役員:29人 消防団員:9人	公民館職員:3人		
	資私 源的			日高補導会役員		
活動拠点・施設関係	資公 源的		日高公民館 馬越公園 片山公園 高橋健康広場 別名健康広場 市民の森(一部)	公民館 集会所 6箇所	公民館	公民館
	資私 源的	病院:1箇所 (内・消・放・リ・透) 一般診療所:7箇所 (循・心療・小・外・整・脳・皮・リ・放) 歯科診療所:2箇所	寺 神社		JA	天然温泉・プール
地域の行事・祭り	資公 源的		地区盆踊大会(8月) 地区文化祭(3月)	住民運動会 卓球大会 盆踊り大会 球技大会 児童野球大会 シャフルボード大会 文化祭		地区盆踊大会(8月) 三世代交流活動 地区住民運動会(4月) 地区球技大会(10月)
	資私 源的		春祭り(5月) 秋祭り(10月) おんまぐ踊り隊	高齢者料理教室 鈴虫放虫 たのもさんづくり		
地域の見守り・互助体制、災害等緊急時の対応の仕組み	資公 源的		自治会長の任期:1年			
	資私 源的		自主防災組織(1)			

※公民館主催事業・自主講座については、平成20年9月末現在のデータ

- (1)本表は調査段階の資料であって、現に存在する地域資源のすべてを網羅するものではありません。
(2)本表は情報の収集・提供を目的としているため、団体名等について可能な部分は実名で表記しています。

3-1-2-③ 菊間地区

【地区特性】

旧町村陸地部として菊間地区を選定。陸地部では市中心部よりかなり距離があり松山市に隣接した区域である。地区内には農村・山間地域、石油コンビナートや特産品である製瓦業を中心とした工業の盛んな場所、斎灘に面した漁港などを有し、既存産業にも多面性をもつ地域であるが、少子高齢化は進行している。

【地域資源】

菊間地区		地域資源1			
項目	種別	福祉関係			
		高齢者	障害者(児)	子育て支援	その他
各種団体	資源的	今治市社会福祉協議会菊間支部 菊間支部老人クラブ連合会	今治市社会福祉協議会菊間支部	菊間小PTA・亀岡小PTA 菊間中PTA 保育所父母の会	保護司会 遺族会 母子会
	資源私	各種ボランティア団体 JA 社会福祉法人 高齢者介護サービス事業者 配食サービス事業者、団体	身体障害者福祉会 各種の障害者団体	子育て支援グループ ボランティア団体	
人材	資源公	民生委員・児童委員:22人 うち、主任児童委員:2人 保健師:2人 見守り推進委員:20人 理学療法士:1人 コミュニティソーシャルワーカー:1人			
	資源私	ホームヘルパー:63人 介護福祉士:27人 各種のボランティア	障害者団体代表 各種のボランティア	小学校評議員:10人 PTA役員 保育所父母の会役員 保育士	保護司 遺族会役員 母子会役員
活動拠点・施設関係	資源公	地域包括支援センター 老人憩の家(1) 老人福祉センター(1) 在宅介護支援センター(1) グループリビング(1)	老人福祉センター(1)	児童館(2) 保育所(2) 小学校(2) 中学校(1)	菊間公民館 歌仙地域住民学習センター 亀岡学習センター 老人福祉センター
	資源私	特別養護老人ホーム(1) 軽費老人ホーム(2) グループホーム(1) デイサービスセンター(3) 在宅介護支援センター(1)	障害者作業所(1) グループホーム(1)	子育て支援グループ指導者3人 ボランティア指導者	
地域の行事・祭り	資源公	敬老会(菊間・亀岡・歌仙)		小中学校運動会 小中学校文化祭 保育所行事 児童館行事	追悼式
	資源私		障害者団体バザー		
地域の見守り・互助体制、災害等緊急時の対応の仕組み	資源公	一人暮らし高齢者見守り制度 配食サービス制度 民生委員訪問活動	民生委員訪問活動	民生委員訪問活動 青色灯装着車両による防犯活動	亀岡駐在所 菊間駐在所
	資源私				コンビニ 2軒

地域資源2

項目	種別	保健・医療関係	住民自治関係	社会教育関係	地域振興関係	文化・スポーツ関係
各種団体	資源的	食生活改善協議会	菊間地区自治会 消防団 菊間地区防犯協会	PTA 菊間地区婦人会 地区壮年会 菊間公民館主催事業 (教育-1) 歌仙地域住民学習センター主催事業 (料理-1 その他-1) 亀岡学習センター主催事業 (その他-1)		体育協会 文化協会
	資源的		自主防犯団体・グループ 総代会	児童生徒をまもり育てる協議会 菊間公民館自主講座 (学術-1 文芸-2 趣味創作-5 音楽-6 舞踊-4 茶華道-1 ボランティア-2 教育-1 健康-1 その他-1) 歌仙地域住民学習センター自主講座 (趣味創作-2) 亀岡学習センター自主講座 (文芸-1 趣味創作-4 音楽-4 舞踊-3 茶華道-1) 児童生徒をまもり育てる協議会	商工関係団体 農漁業関係団体 まちおこしグループ	各種スポーツ団体 各種文化団体
人材	資源的	保健師: 2人 食生活改善協議会会員	菊間地区自治会役員: 186人 消防団役員 菊間地区防犯協会役員: 14人	公民館長等: 3人 社会教育主事: 1人 社会教育指導員: 1人 地区婦人会役員 地区壮年会役員		体育協会役員: 14人 文化協会役員: 10人 体育指導員: 10人
	資源的	一般医師: 2人 歯科医師: 2人 看護師	自主防犯活動リーダー 地区総代: 28人	児童生徒をまもり育てる協議会役員	まちおこしリーダー ボランティアリーダー	各種スポーツ指導者 各種文化団体指導者
活動拠点・施設関係	資源的	老人福祉センター(1)	公民館(1) 集会所(37) 学習センター(2) 消防会館(1) 消防詰所(2)	公民館(1) 集会所(37) 学習センター(2)	亀岡地区住民センター	公園 各種スポーツ施設
	私的資源	一般診療所(2) (内・呼・胃・循・小・外・整・リ) 歯科診療所(2)	神社 お寺		商工会館 農協	
地域の行事・祭り	資源的	健診 健康相談 健康教育 家庭訪問	文化祭 盆踊り大会	成人式 パソコン教室 地区盆踊り大会 スポーツ祭り 花の苗植え 亀岡盆踊り大会 亀岡秋季大運動会 亀岡お月見会 菊花展 料理教室 歌仙夏まつり つり大会 クリスマス会 教養講座		地区運動会 お供馬の走り込み レクバレー大会
	資源的	健康まつり	納涼祭 地藏盆 秋祭り	こどもと保護者の料理教室 分館対抗グランドゴルフ大会 地区対抗レクレーションバレーボール大会	商工祭り 花火大会 かわらぬ愛きくま	盆野球大会 ソフトボールリーグ レクバレーリーグ
地域の見守り・互助体制、災害等緊急時の対応の仕組み	資源的					
	資源的		自主防災組織(2)	児童生徒をまもり育てる協議会		

※公民館主催事業・自主講座については、平成20年9月末現在のデータ

- (1)本表は調査段階の資料であって、現に存在する地域資源のすべてを網羅するものではありません。
(2)本表は情報の収集・提供を目的としているため、団体名等について可能な部分は実名で表記しています。

3-1-2-④ 上浦地区

【地区特性】

西瀬戸自動車道大三島 IC・道の駅を有し、大三島全体の交通の要の地区である。主産業は、大三島地区と同じくみかんを主とする農業地域であり、同じく少子高齢化が進んでいる。出荷量は多くないが、ひらめの養殖もしている。以前は、戦中の軍の施設を起源とする民間石油元売会社の油槽所があったが、平成初期に閉所された。文化勲章受章者・村上三島氏(書家・故人)の出身地である。

【地域資源】

上浦地区		地域資源1			
項目	種別	福祉関係			
		高齢者	障害者(児)	子育て支援	その他
各種団体	公的資源	今治市社会福祉協議会上浦支部 上浦支部老人クラブ連合会 8単位老人クラブ		上浦小PTA 上浦中PTA 井口保育所保護者の会 瀬戸崎保育所保護者の会 盛保育所保護者の会	愛媛県人権対策協議会上浦支部 上浦人権教育協議会 保護司会 更生女性会
	資私源的	上浦町ボランティア連絡会	上浦町身体障害者福祉会	上浦町ボランティア連絡会	上浦町ボランティア連絡会 遺族会
人材	公的資源	民生委員・児童委員:15人 うち、主任児童委員:2人 見守り推進委員:0人 保健師:2人			
	源私的資	ボランティア連絡会役員 コミュニティソーシャルワーカー:1人		上浦小PTA役員 上浦中PTA役員 保育士 ボランティア連絡会役員	保護司 更生女性会役員 ボランティア連絡会役員
活動拠点・施設関係	公的資源	老人憩いの家:8箇所 上浦福祉センター 上浦保健センター 在宅介護支援センター 上浦多々羅しまなみスポーツ公園運動場	上浦支所	保育所:3箇所 上浦小学校 上浦中学校 上浦福祉センター 上浦多々羅しまなみスポーツ公園運動場	上浦福祉センター 地域住民学習センター
	資私源的				
地域の行事・祭り	公的資源	敬老会 長寿社会寿フェスティバル		上浦小中学校合同運動会 上浦中学校文化祭 上浦小学校学習発表会 保育所行事	人権タベの集い
	資私源的				
地域の見守り・互助体制、災害等緊急時の対応の仕組み	公的資源	福祉関係団体の連携 民生委員訪問活動 一人暮らしの高齢者見守り制度 配食サービス制度	民生委員訪問活動	民生委員訪問活動 青色灯装着車両による防犯活動	瀬戸崎駐在所 井口駐在所
	資私源的				コンビニ 2軒

地域資源2

項目	種別	保健・医療関係	住民自治関係	社会教育関係	地域振興関係	文化・スポーツ関係
各種団体	資公 源的		上浦地区自治会 消防団	上浦小・中PTA 盛研修センター主催事業 (語学-1)		
	資私 源的	食生活改善推進協議会 上浦生活改善グループ	上浦自主防災組織	盛研修センター自主講座 (音楽-1 伝統芸能-1 趣味創作-1) 上浦開発総合センター自主講座 (語学-1 趣味創作-2) 井口地域学習センター自主講座 (音楽-3) 瀬戸崎地域学習センター自主講座 (趣味創作-2 音楽-2 健康-1) 児童生徒をまもり育てる協議会	大三島愛ランド自然倶楽部 上浦農業後継者協議会 しまなみ商工会上浦支所 大三島漁協上浦支所 町おこしグループ	今治市体育協会上浦支部 各種スポーツ団体 各種文化団体
人材	資公 源的	保健師	上浦地区自治会役員 消防団	上浦小・中PTA役員 公民館長		
	資私 源的	一般医師:2人 歯科医師:2人 看護師 消防士 救急救命士	自主防犯活動リーダー	児童生徒をまもり育てる協議会役員	大三島愛ランド自然倶楽部役員 上浦生活改善グループリーダー 上浦農業後継者協議会リーダー 町おこしグループリーダー	上浦支部体育指導委員 各種スポーツ指導者 各種文化団体指導者
活動拠点・施設関係	資公 源的	上浦支所 上浦保健センター	地域住民学習センター 盛研修センター	上浦開発総合センター 地域住民学習センター(2) 盛研修センター 集会所(20) 上浦多々羅しまなみスポーツ公園運動場	上浦開発総合センター 地域住民学習センター 上浦支所	上浦開発総合センター 地域住民学習センター 盛研修センター 上浦多々羅しまなみスポーツ公園運動場 上浦歴史民族資料館・上浦芸術会館
	資私 源的	一般診療所:2箇所 (内・小・外) 歯科診療所:2箇所 接骨院:1箇所 針灸院:1箇所 各種健診 体カフェスタ	神社・お寺		JAかみうら支店 しまなみ商工会上浦支所 大三島漁協上浦支所	
地域の行事・祭り	資公 源的			成人式 町民運動会 球技大会 わなげ大会		地区運動会
	資私 源的		盆踊り 地藏盆 秋祭り		サマーフェスタinかみうら 農業祭	秋祭り 文化祭り
地域の見守り・互助体制、災害等緊急時の対応の仕組み	資公 源的	救急体制	自治会長の任期:2年 町内6自治会			
	資私 源的		火災・災害の援助協定 冠婚葬祭の取り決め 上浦自主防災組織結成	児童生徒をまもり育てる協議会		

※公民館主催事業・自主講座については、平成20年9月末現在のデータ

- (1)本表は調査段階の資料であって、現に存在する地域資源のすべてを網羅するものではありません。
(2)本表は情報の収集・提供を目的としているため、団体名等について可能な部分は実名で表記しています。

3-1-2-⑤ 大三島地区

【地区特性】

国宝の鎧・刀剣保有率全国一の大山祇神社などの観光地も有するが、みかんを主とする農業地域である。高齢化の進行や価格低迷などにより、みかん産業も衰退しつつある。

【地域資源】

大三島地区

地域資源1

項目	種別	福祉関係			
		高齢者	障害者(児)	子育て支援	その他
各種団体	資公源的	今治市社会福祉協議会大三島支部			
	資私源的	大三島支部老人クラブ連合会		宮浦保育所保護者の会 岡山保育所保護者の会 大三島小PTA 大三島中PTA 大三島児童クラブ	遺族会 保護司会
人材	資公源的	JA ボランティア協議会	大三島身体障害者互助会 さざなみ会(精神障害者家族会)		
	資私源的	民生委員・児童委員:20人 うち、主任児童委員:2人 見守り推進委員:19人 保健師:2人 ホームヘルパー:5人 介護福祉士	コミュニティソーシャルワーカー:1人		
活動拠点・施設関係	資公源的	伯方地域包括支援センター 大三島福祉センター 大三島保健センター グループホーム(3棟) 養護老人ホーム(楠風園) 地域住民学習センター 集会所(23)	大三島支所 さざなみ園	大三島小学校児童クラブ 宮浦・岡山保育所 大三島小学校 大三島中学校	マーレグラッシア
	資私源的				
地域の行事・祭り	資公源的	敬老会 ゲートボール大会(年3回)	藤まつり(4月) ふれあい祭り(10月) ふれあいコンサート(11月) クリスマス会(12月)	小、中合同運動会 保育所行事	追悼式 慰霊塔参拝
	資私源的				慰霊塔清掃活動 マーレグラッシア祭
地域の見守り・互助体制、災害等緊急時の対応の仕組み	資公源的	福祉関係団体の連携 ボランティア協議会(社協) 民生委員訪問活動 一人暮らしの高齢者見守り制度 配食サービス制度	民生委員訪問活動	民生委員訪問活動 青色灯装着車両による防犯活動	大三島駐在所 宗方駐在所
	資私源的	配食サービスボランティア 安否確認ボランティア			

地域資源2

項目	種別	保健・医療関係	住民自治関係	社会教育関係	地域振興関係	文化・スポーツ関係
各種団体	資源的		大三島地区自治会 消防団 大三島地区婦人会	PTA 大三島地区婦人会 大三島公民館主催事業 (文芸-2 趣味創作-2 健康-3)		文化協会 体育協会
	私的	食生活改善推進協議会 医師会 歯科医師会	大三島自主防災組織	大三島公民館自主講座 (学術-1 文芸-2 趣味創作-3 レクリエーション-1 健康-1 その他-3) 児童生徒をまもり育てる協議会	御島ガイドの会 農漁業関連団体	各種文化団体
人材	資源的	保健師	大三島地区自治会役員 消防団役員	公民館長 社会教育主事 社会教育指導員 大三島地区婦人会役員		一人相撲
	私的	一般医師 歯科医師 看護師 消防士 救急救命士		児童生徒をまもり育てる協議会役員	ボランティアガイド(8人) 漁協婦人会	各種文化団体指導者
活動拠点・施設関係	資源的	大三島支所 大三島保健センター	大三島公民館 地域住民学習センター 公園	公民館(1) 集会所(23) 地域学習センター(3)	公民館 ラントウレーベン大三島	公民館 公園 地域学習センター 大三島図書館 大三島美術館 所ミュージアム
	私的	病院:1箇所 (内・外) 一般診療所:1箇所 (眼) 歯科診療所:1箇所 接骨院(整体):4箇所 針灸院:1箇所				大山祇神社
地域の行事・祭り	資源的	健診	盆踊り	成人式 川柳教室 俳句教室 フラワーデザイン教室 野々江ヨガ教室 肥海ヨガ教室 宮浦ヨガ教室 地域づくり環境美化整備 藤まつり パソコン教室	産業文化祭 ラントウレーベン大三島	
	私的		ラントウレーベン大三島交流祭 おんまく 秋祭		鶴姫祭り 花火大会	秋祭り 文化祭
地域の見守り・互助体制、災害等緊急時の対応の仕組み	資源的	救急体制	冠婚葬祭の取り決め			
	私的		大三島自主防災組織			

※公民館主催事業・自主講座については、平成20年9月末現在のデータ

- (1)本表は調査段階の資料であって、現に存在する地域資源のすべてを網羅するものではありません。
 (2)本表は情報の収集・提供を目的としているため、団体名等について可能な部分は実名で表記していません。

3-1-2-⑥ 関前地区

【地区特性】

岡村島・小大下島・大下島の3島で構成され、広島県と県境を接している。島しょ部のなかで唯一橋でつながっていない地域であったが、20年11月には、安芸灘諸島連絡架橋により呉市と結ばれた。高齢化率の高さは日本有数である。現在、岡村診療所常駐の医師が週2回他の2島の診療所を回っている。以前は、みかん産業が主であったが、現在は大三島と同じ状況にある。旧今治市内からの直通交通手段は船便のみであるが、今治港と各島を結ぶ船便は極端に少なく、新市内で最も交通事情の厳しい地域となっている。地区全域が限界集落である。

【地域資源】

関前地区		地域資源1			
項目	種別	福祉関係			
		高齢者	障害者(児)	子育て支援	その他
各種団体	資源公的	今治市社会福祉協議会関前支部 関前支部老人クラブ連合会 4単位老人クラブ		関前小・中PTA	
	資源私的	グループホーム関前	関前身体障害者互助会		遺族会
人材	資源公的	民生委員・児童委員:7人 うち、主任児童委員:1人 見守り推進委員:0人 保健師:1人 コミュニティソーシャルワーカー:1人			
	資源私的		関前身体障害者互助会役員	岡村保育所保護者の会 関前小・中PTA役員 保育士	
活動拠点・施設関係	資源公的	老人憩いの家:1個所 関前高齢者生活福祉センター	関前支所	保育所:1個所 岡村小学校 関前中学校 関前高齢者生活福祉センター	関前高齢者生活福祉センター
	資源私的	グループホーム関前			
地域の行事・祭り	資源公的	敬老会		関前小中学校・保育園合同運動会	
	資源私的				
地域の見守り・互助体制、災害等緊急時の対応の仕組み	資源公的	福祉関係団体の連携 民生委員訪問活動 一人暮らしの高齢者の見守り制度 配食サービス制度		青色灯装着車両による防犯活動	関前駐在所
	資源私的				

地域資源2

項目	種別	保健・医療関係	住民自治関係	社会教育関係	地域振興関係	文化・スポーツ関係
各種団体	資源的 公的	診療所(岡村・小大下・大下)	関前地区自治会 消防団	岡村小・関前中PTA 関前開発総合センター主催事業 (健康-1)		
	資源的 私的	食生活改善推進協議会	関前自主防災組織	関前開発総合センター自主講座 (趣味創作-3 音楽-2 茶華道-1 料理-1 レクリエーション-1 教育-1 健康-2) 今治こども安心パトロール隊	JA 関前村漁業協同組合 岡村営農集団 関前みかん学級	関前文化協会
人材	資源的 公的	診療所医師:1人 看護師:2人 保健師:1人	関前地区自治会役員 今治市消防団関前方面隊役員	岡村小・関前中PTA役員 関前開発総合センター所長		
	資源的 私的		自主防災活動リーダー	今治こども安心パトロール隊役員	関前営農集団 関前みかん学級	
活動拠点・施設関係	資源的 公的	関前支所 一般診療所(岡村・小大下・大下) (内・外)	関前開発総合センター 集会所(2)	関前開発総合センター 集会所(2)	関前開発総合センター 関前支所 小大下地区住民センター 大下地区住民センター	関前開発総合センター
	資源的 私的		神社・お寺		JA関前支店・大下店 関前村漁業協同組合	
地域の行事・祭り	資源的 公的	各種検診	産業文化祭 盆踊り	関前保育所・小中学校合同運動会 文化祭 ふれあい音楽広場 ふれあい花教室 手芸教室 とんど行事 ふれあい陶芸教室	産業文化祭 関前保育所・小中学校合同運動会	産業文化祭
	資源的 私的		秋祭り 弓祭り			秋祭り 弓祭り
地域の見守り・互助体制、災害等緊急時の対応の仕組み	資源的 公的	呉市との災害時救急援助協定	自治会長の任期:各自治会で決める 単位自治会:20			
	資源的 私的		関前自主防災組織(岡村・小大下・大下)			

※公民館主催事業・自主講座については、平成20年9月末現在のデータ

- (1)本表は調査段階の資料であって、現に存在する地域資源のすべてを網羅するものではありません。
(2)本表は情報の収集・提供を目的としているため、団体名等について可能な部分は実名で表記しています。

3-1-3 モデル地区アンケート調査の結果

3-1-3-① 調査の概要

■調査の目的

モデル地区における生活課題や地域での助け合いの実情及び意見を把握するため、市民アンケート調査における対象地区分にあわせて、補足的に追加調査を実施した。

■調査方法

- 市民アンケート調査：郵送による配布・回収
- 追加調査：郵送及び地区座談会にて直接配布・回収

■調査時期

平成20年9月

■調査対象

- 市民アンケート調査の回答者のうち居住地区がモデル地区6地区（常盤、日高、菊間、上浦、大三島、関前）であるもの
- 追加調査は菊間、上浦、大三島、関前の4地区における地区別座談会参加者

■回収結果

- 市民アンケート調査：配布数 575 票、回収数 227 票、回収率 39.5%
- 追加調査：配布数 111 票、回収数 79 票、回収率 71.2%
- 総数：配布数 686 票、回収数 306 票、回収率 44.6%

図表 3-3 モデル地区アンケート調査回収結果

モデル地区		配布数(票数)			回収数(票数)		
		市民アンケート調査	追加調査	計	市民アンケート調査	追加調査	計
旧今治市	常盤地区	187	—	187	54	—	54
	日高地区	170	—	170	52	—	52
旧越智郡陸地部	菊間地区	84	30	114	58	15	73
旧越智郡島しょ部	上浦地区	58	26	84	26	21	47
	大三島地区	65	23	88	32	20	52
	関前地区	11	32	43	5	23	28
計		575	111	686	227	79	306

■調査項目

①属性

- ・性別、年齢、居住地区、居住歴、家族構成

②地域や生活の範囲について

- ・「地域」の認識範囲、生活範囲

③福祉やサービスの利用について

- ・福祉サービス推進における行政と住民の関係
- ・福祉サービスの水準評価と充実していない福祉サービス
- ・福祉サービスに関する情報媒体
- ・行政が行う福祉サービスのありかた
- ・福祉制度・サービスの利用状況と満足度（必要量と内容）
- ・安心して福祉サービスを利用できるようにするために大切なこと

④近所づきあいや生活の満足度、困りごとの対応について

- ・近所との付き合いの程度
- ・暮らしの満足度
- ・暮らしの中での困り事や不安事と相談相手

⑤地域活動やボランティア活動への参加について

- ・地域活動への参加状況と参加意向
- ・ボランティア活動への参加状況と参加意向及び参加が難しい理由
- ・住民同士のつながりを深める取組や行事

⑥住民同士の助け合いについて

- ・日常生活で不自由になったとき地域や近所で手伝ってほしいこと
- ・日常生活で困っている世帯にできる支援や協力内容
- ・地域における助け合いを活発にするために必要なこと

⑦災害・防災について

- ・災害時に一人で避難が可能か、避難支援者の有無
- ・災害時の安否確認や避難支援のための個人情報の取り扱い

⑧今治市の施策について

- ・今後優先的に取り組むべき施策

■集計・分析にあたって

- ・モデル地区別に結果を示した。
- ・モデル 6 地区について市民アンケート回収票に地区別座談会における回収票をあわせてサンプル数とした。
- ・各地区の数値は単数回答の設問については票数、複数回答の設問については回答者（N 値）に占める割合（四捨五入による小数点第 1 位までの数値）である。なお、比較基準として示す「全体」は市民アンケート調査の全体結果であり、割合で示した。

3-1-3-② モデル地区アンケート、座談会の結果のまとめ

旧今治市

【地域のまとまり単位】 自治会、小学校区程度

【生活行動範囲】 市内が主であるが、買回り品の購入等では松山市が行動圏域内

【近所づきあい】 再構築へ あいさつをする程度の近所づきあい割合が高い。座談会においても「近所の交流が少ない」点が課題としてあげられ、「向こう三軒両隣の再生」、「自治会加入ポイント制導入」、「自治会会員が話し合える場」などが提案された。また地域内での交流を促進する井戸端会議やミニサロン等の開催も提案されている。

【地域活動、ボランティア活動】 地域活動、ボランティア活動ともに参加率が低い。

【優先的な課題】 子育て支援 座談会では、子どもの生活の不安定要素、遊び場がないこと、地域社会への不参加家庭への働きかけ、母親交流など子育てに関わる課題が多くあげられ、子育て支援の取組として、高齢者と子どもの交流事業や親も子どもも仲良くなる行事の開催、スクールカウンセラーの充実、子どもの目で地域を考える機会創出などが提案された。

防犯(交通安全) 街灯が少ない、通行量の増加による危険、交通マナーが悪いなどの交通安全上の問題があげられ、見守りボランティアの連携、交通マナーの指導強化など提案があった。

(常盤)

- ・ マンションなどの集合住宅が多く、少数世帯の割合が高い。
- ・ 災害時、自分で避難できる割合が全体に比べて低く、避難支援者が「いない」割合が高くなっている。座談会においても防災対策の取組の必要性があげられ、「小地域での防災訓練実施」、「自治会で防災対策話し合い」、「防災マップ作成」、「校区の避難場所めぐり」などが提案されている。
- ・ 地域活動等への不参加理由として「参加したいと思う活動の情報が得られない」とある。
- ・ 助け合いを活発にするために必要なこととして「地域活動の中でのリーダーや福祉活動に携わる人の育成」が上位
- ・ 座談会において、「外国人の増加」が課題としてあげられている。

(日高)

- ・ 急速に市街化の進む人口増加地域で調査結果では 30 歳代を中心とする子育て層割合が高い。
- ・ 「子育て支援」の充実への意向が高い。
- ・ 地域活動への参加率は低い、不参加理由として「家事や育児で時間がない」が上位に入り、今後の参加意向は7割を超える。

○ 「近所のつながりづくり」－支えあいのしくみの構築

話し合いの場やミニサロンの開催などにより、新しいつながりづくりが必要であり、少数世帯、外国人、子育て世帯など地域を構成する誰もが支えあえるしくみを構築する必要がある。

○ 子育て支援、防犯、防災をきっかけとした地域の交流活動の展開

優先的な課題である子育て支援、防犯対策、防災対策の取組の充実とともに、その取組を通じた交流活動の展開が必要である。

旧越智郡陸地部

- 【構成】 少子高齢化が進行。居住歴の長い世帯割合が高い。比較的三世帯家族の割合が高い。
- 【地域のまとまり単位】 自治会、小学校区程度と並んで合併前の旧市町村の割合も高い。
- 【生活行動範囲】 全体に比較して松山市が行動圏内である割合が高い。
- 【福祉サービス】 充実していない分野として「高齢者に関する福祉」と「子育て支援」
- 【近所づきあい、暮らしの満足度】 「助け合っている」が半分を占める。満足度がやや低い。近所での支えあいにおいて「話し相手になること」が望まれている。
- 【地域活動、ボランティア活動】 自治会やPTAなど地域活動への参加割合は高いが、ボランティア活動については「参加したことがない」割合が高い。
- 【優先的な課題】 伝統行事等の継続 助け合いを活発にするために必要なこととして「地域の伝統的な行事や特徴的な取組をつうじて」が上位。座談会では「地域活動など高齢者には負担が大きい」との意見もあり、これらの取組の担い手確保が課題である。
- 通院や買い物などに必要な交通手段の充実
- 保健福祉に関する情報提供の充実



○伝統行事等の継続による地域のつながりづくり

担い手の確保を含め、伝統行事等の取組を通じた地域のつながりづくりが求められる。

○日常における子どもから高齢者まで一緒に取り組める交流活動の展開

日常的な声かけ、あいさつなどを含め、世代間交流を深める必要がある。

旧越智郡島しょ部

- 【構成】 高齢化率が高い。居住歴 20 年以上の世帯割合が高い。
- 【地域のまとまり単位】 合併前の旧市町村
- 【近所づきあい、暮らしの満足度】 近所での助け合いが行われており、それにともなって暮らしの満足度も高く、災害時の避難支援者も確保されている割合が高い。
- 【地域活動、ボランティア活動】 地域活動への参加割合が高く、今後も積極的参加意向が高い。一方、座談会では行事等への参加が少ない、地域行事、伝統行事の継続が難しいなど地域運営の課題もあげられ、活動内容の見直しや地域外の人参加などが提案されている。

【優先的な課題】 交通手段の充実 「買い物や通院など」が不安要素であり、「交通手段の充実」が強く望まれている。座談会においても、高齢者の運転が危険、移動手段がない、通院等にお金がかかるなどの課題があげられ、バス交通の充実、橋通行料対策、渡海船の維持などの意見があった。また新たな取組としてコミュニティバスなど共同での移動手段の確保、買い物支援などのアイデアが出された。

地域の活性化

座談会でも「若者が少なくまちの活気がない」があげられ、若者定住の促進や活性化に向けて、産業・産物を活かした観光交流、島の案内役として地域検定の実施、ラントゥレーベンなどを活用した I ターン者の受入れ等の提案があった。また、少子化による教育環境の低下が懸念されており、定住促進を図るには、この点も課題となる。

空き家の活用

座談会では空き巣などの治安、空き家の増加、不審火などの管理問題が課題としてあげられ、空き家を活用した地域サロンの開催等が提案された。

(上浦)

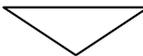
- ・ 「高齢者に関する福祉」と並んで「低所得者に関する福祉」サービスの充実が求められる。福祉サービスを充実させるために「総合相談窓口の設置」が望まれている。
- ・ 「防犯に関すること」が困っていることとして上位に位置する。
- ・ ボランティア活動として「環境美化」、「高齢者(見守り活動など)」への参加割合が高い。
- ・ 助け合いを活発にするために必要なこととして「地域における福祉活動の活動費、運営費などの資金援助」、「地域の活動の積極的な情報提供と参加の呼びかけ」が上位

(大三島)

- ・ みかんを主とする農業地域だが、不安定要素（価格低迷、耕作放棄地増加、イノシシ等の獣害、後継者不足等）をかかえ、産業としては衰退傾向。
- ・ 助け合いを活発にするために必要なこととして「地域の伝統的な行事や特徴的な取組をつうじて」、「地域で活動されている人たちの連携づくり」が上位

(関前)

- ・ 調査結果をみても高齢者が6割を超えている。全域が限界集落の地域。島しょ部のなかでも少数世帯割合が高い。
- ・ 福祉サービスを充実させるために情報提供の充実、総合相談窓口の設置が望まれている。
- ・ 困っていることとして他地区に比べ「介護のこと」の割合が高い。
- ・ 優先施策の上位項目のうち、「住民が共に支えあうしくみづくりへの支援」、「地域の生活課題や問題点を共有し、解決を一緒に考えてくれる職員の配置」の割合が高い。



○交通手段の確保、生活の質の確保

島しょ部においては、買い物や通院など、交通手段の確保が課題として大きくなっている。買い物支援等のサービスを含め生活の質を確保する必要がある。

○現在のつながりを大切にした活性化に向けての地域運営のしくみづくり

現在の助け合いのつながりを大切にした地域の継続、活性化のためのしくみづくりが必要である。

○情報提供の充実、相談窓口の設置

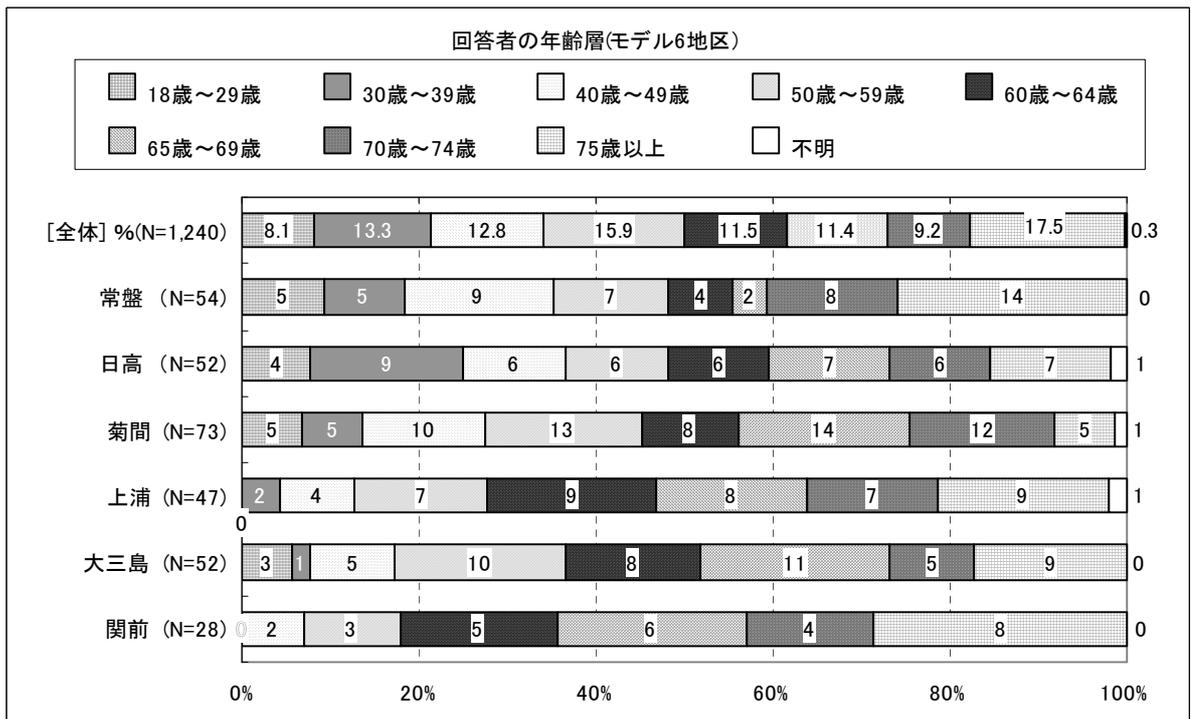
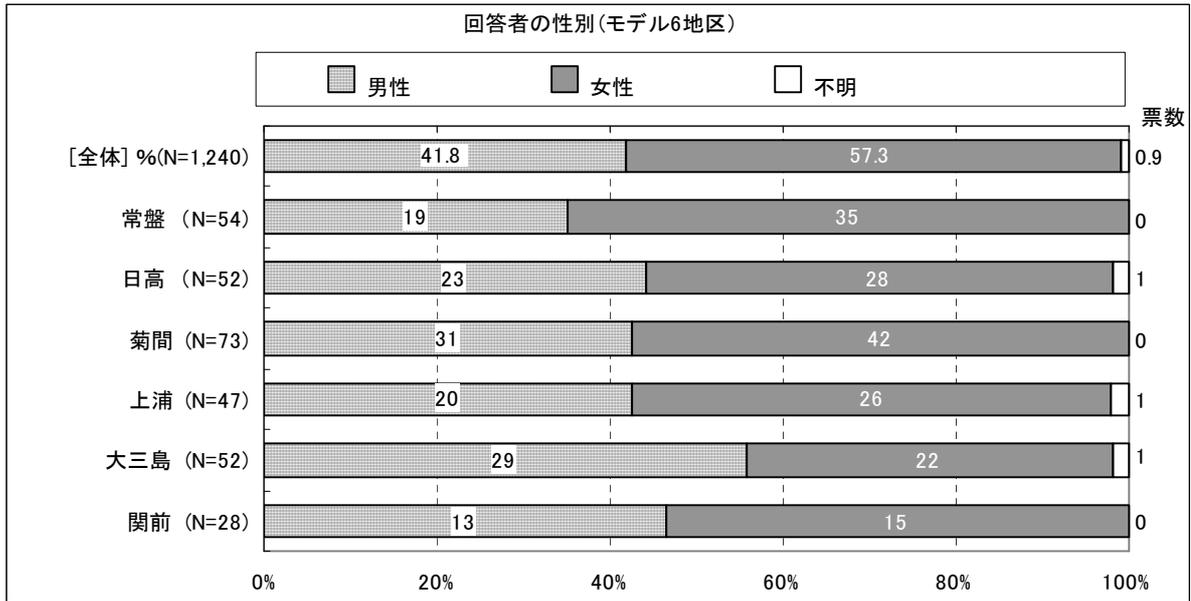
.....
3-1-3-③調査結果
.....

1. 属性

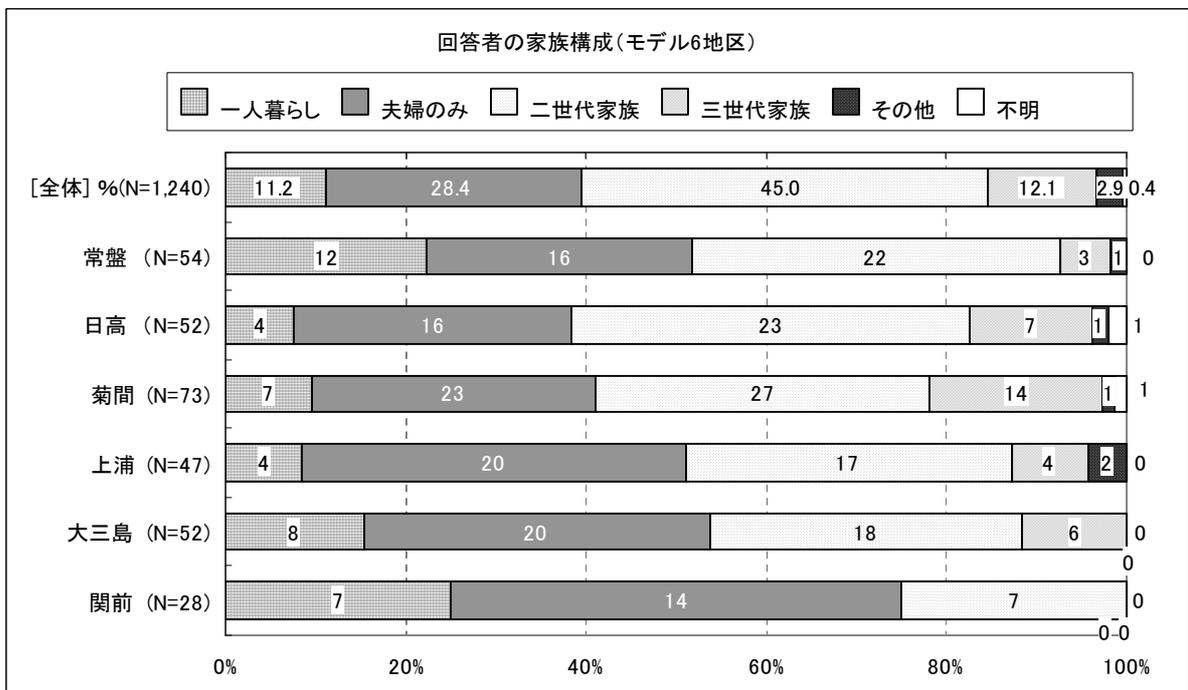
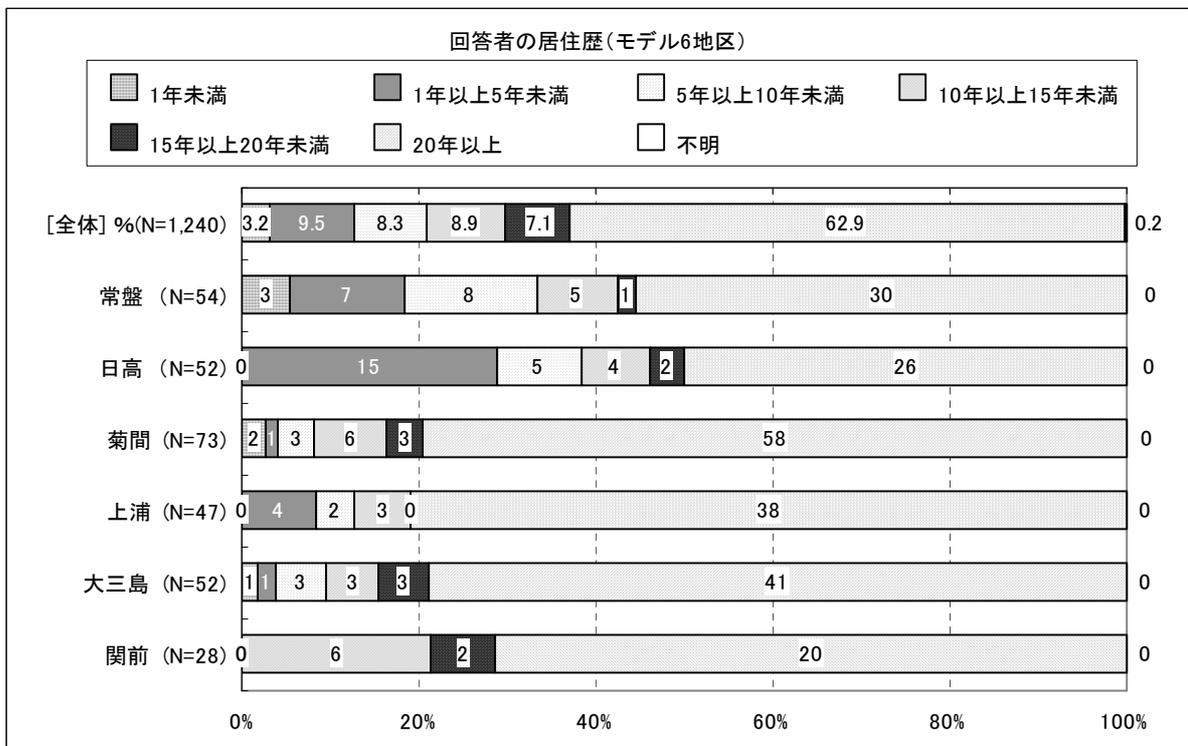
1-1. 性別・年齢層・居住歴・家族構成

- *常 盤：全体と比較して女性の回答者が多い。全体と同程度若い層からの回答があるが、高齢層において特に 70 歳以上の割合が高い。全体と比較して居住歴 10 年未満の割合が高い。一人暮らし、夫婦のみの少数世帯の割合が高い。
- *日 高：6 地区のなかでは 30 歳代の回答者割合が高い。居住歴 5 年未満の割合が高い。
- *菊 間：高齢層のうち 65 歳～74 歳が多く、75 歳以上は少ない。居住歴 20 年以上の割合が高い。三世代家族の割合が高い。
- *上 浦：60 歳以上が 7 割を超え、高齢層割合が高い。居住歴 20 年以上が 8 割程度を占める。
- *大三島：全体と比較して男性の回答者がやや多い。60 歳以上が 6 割を超える。居住歴 20 年以上が 8 割程度を占める。
- *関 前：39 歳以下の若い層からの回答はなく、60 歳以上が 8 割を超え、高齢層割合が非常に高い。回答者すべてが居住歴 10 年以上であり、20 年以上の者が 7 割を超える。一人暮らし、夫婦のみ世帯が 8 割近くを占め、島しょ部のなかでも少数世帯割合が高い。

図表 3-4 属性（性別、年齢層）



図表 3-5 属性（居住歴、家族構成）

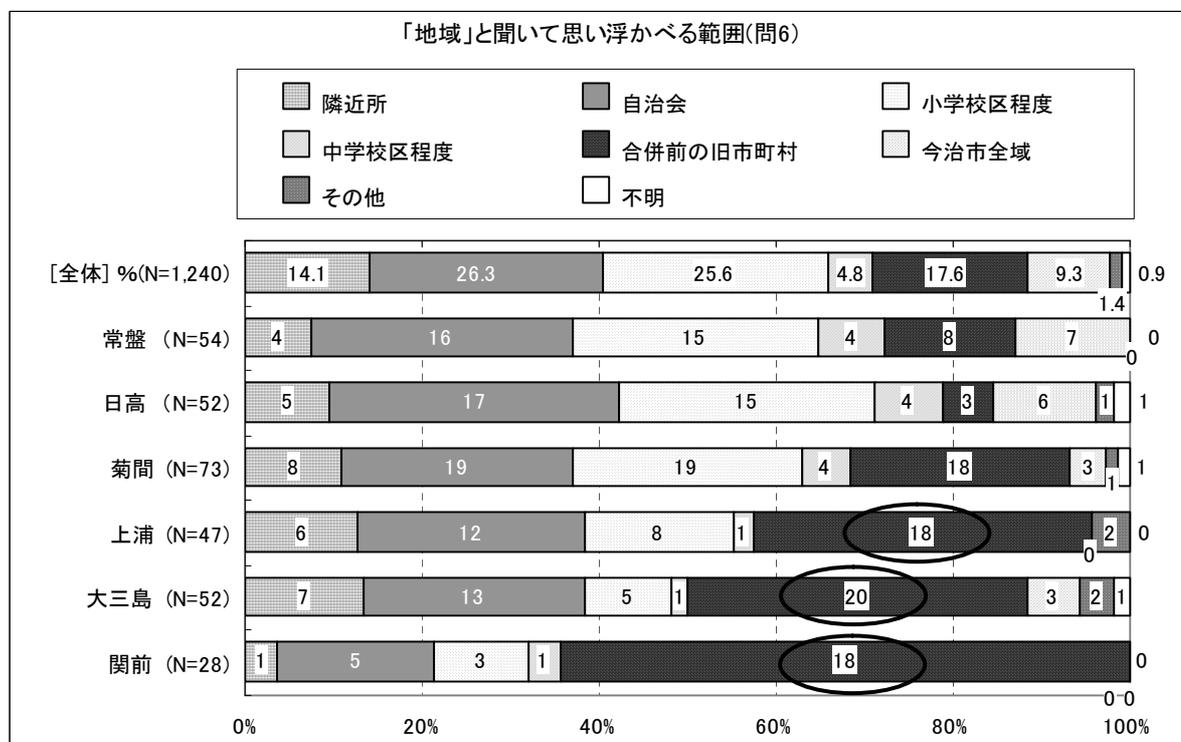


2. 地域や生活の範囲について

- * 常盤、日高：全体と同様で「自治会」、「小学校区程度」を「地域」とイメージ。生活行動範囲は市内が主であるが、「買回り品の購入」、「レジャー」では「松山市」との回答がみられる。
- * 菊間：「自治会」、「小学校区程度」と並んで「合併前の旧市町村」を「地域」とイメージしている。すべての生活行動において全体と比較して「松山市」の割合が高い。
- * 上浦、大三島：「合併前の旧市町村」を「地域」とイメージする割合が高い。「レジャー」では「福山市」との回答がみられる。
- * 関前：「合併前の旧市町村」を「地域」とイメージする割合が高い。生活行動範囲はほぼ今治市内に限られている。

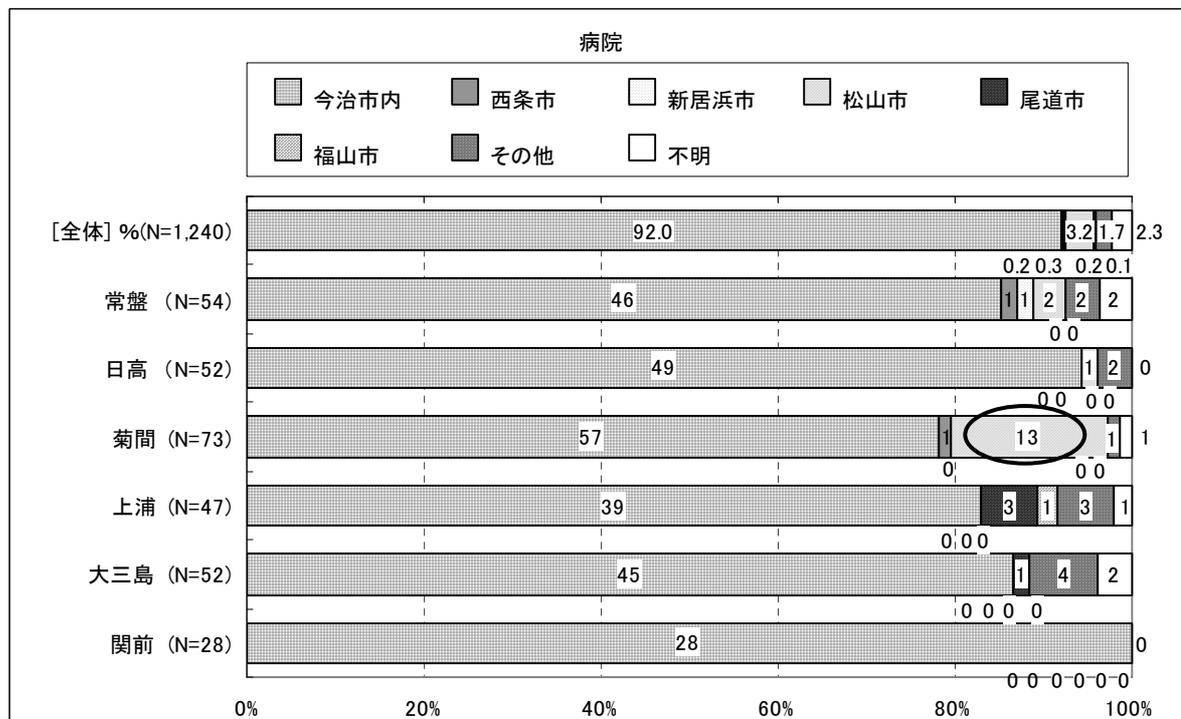
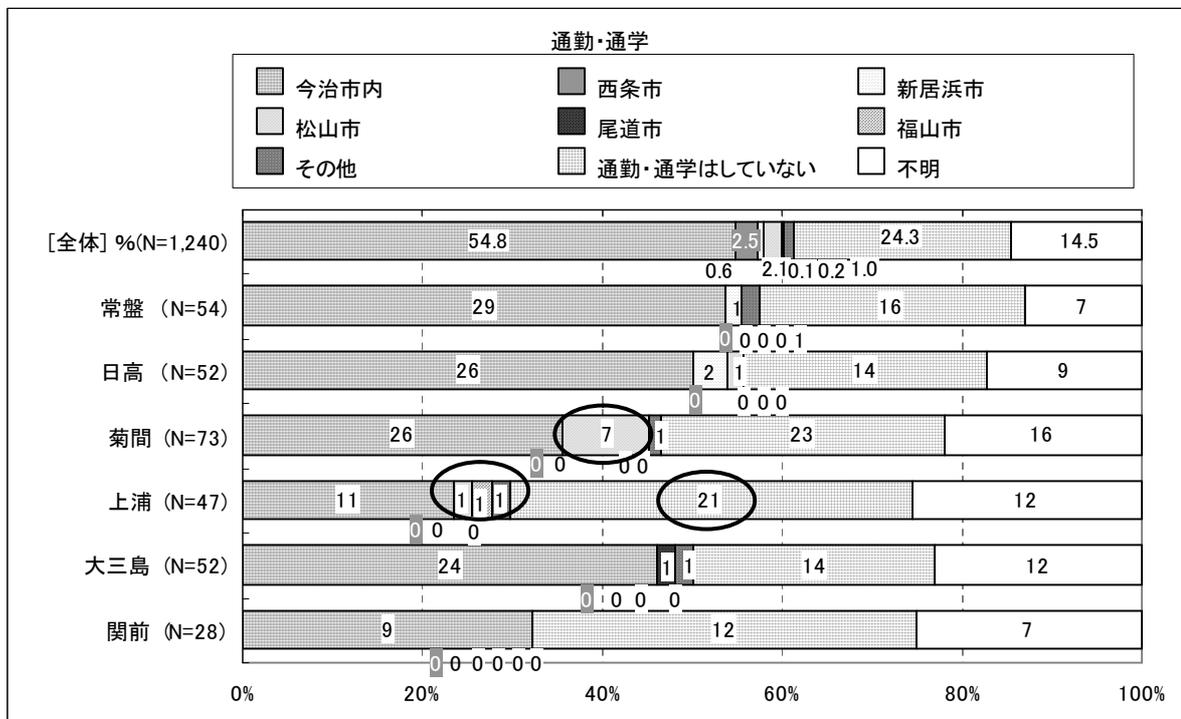
2-1. 「地域」という言葉を聞いて思い浮かべる範囲（問6）

図表 3-6 「地域」と聞いて思い浮かべる範囲

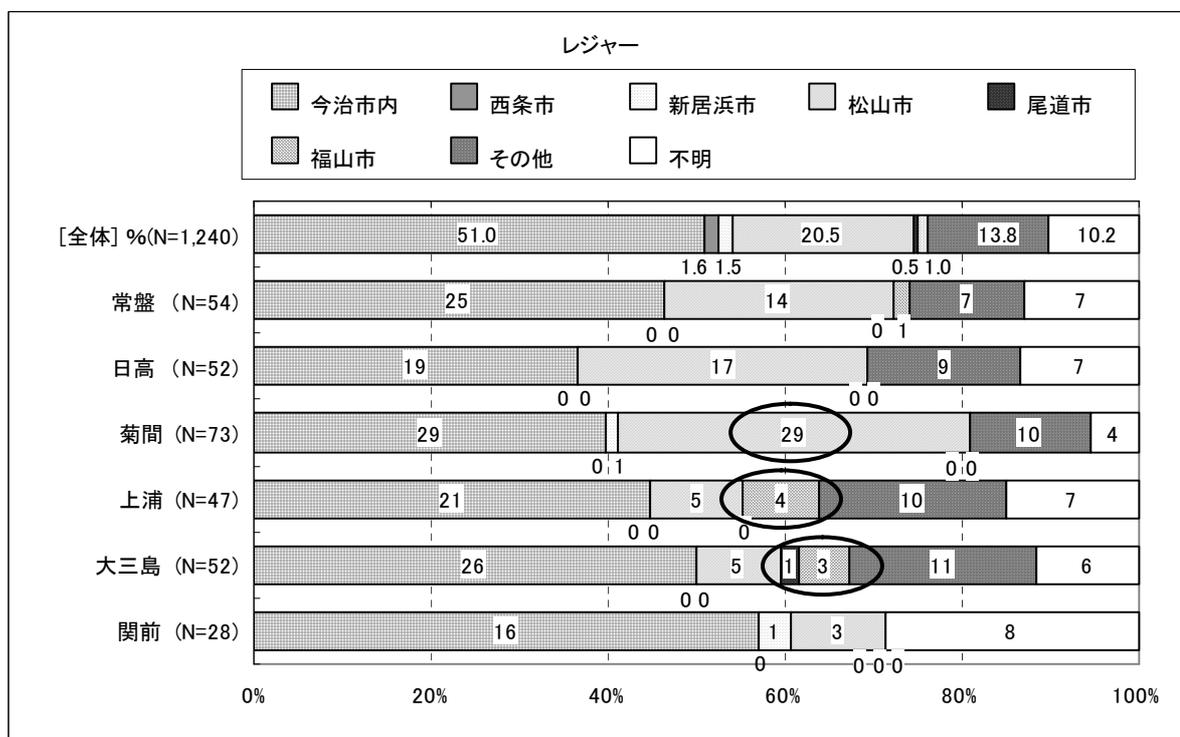
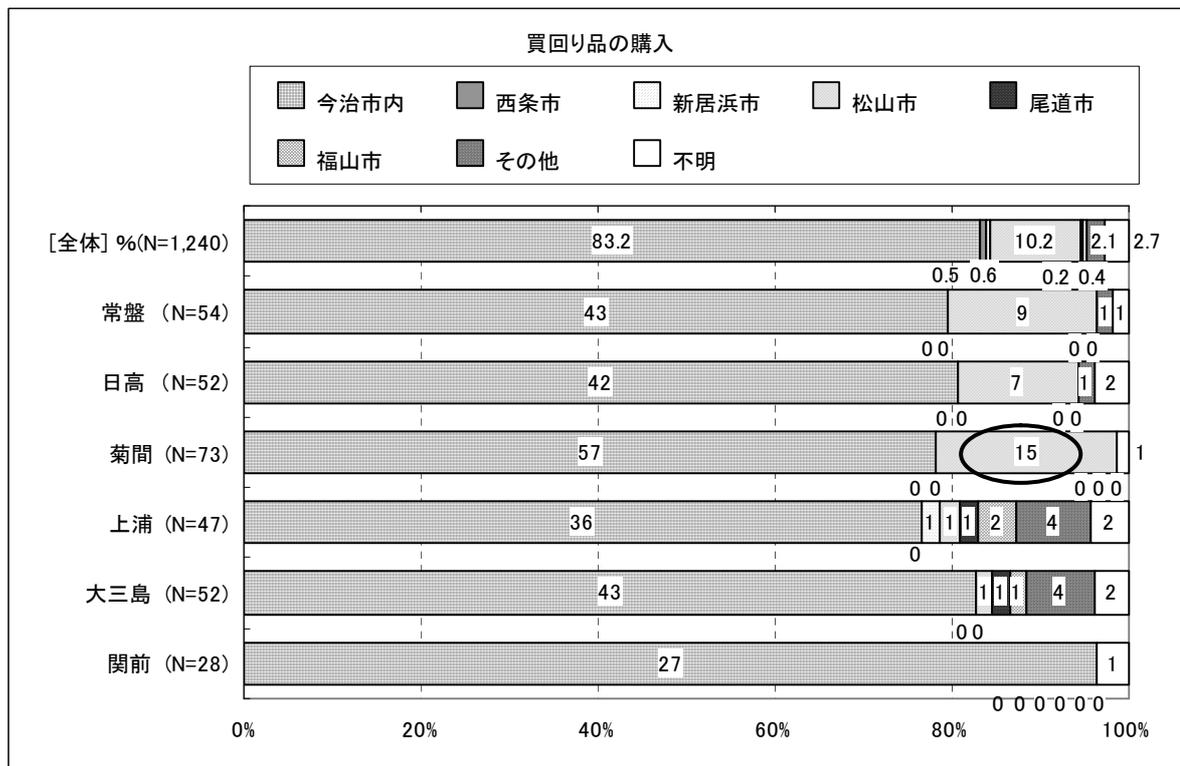


2-2. 生活の範囲 (問7)

図表 3-7 生活の範囲 (通勤・通学、病院)



図表 3-8 生活の範囲（買回り品の購入、レジャー）



※「レジャー」の「その他」は「行かない」、「県外」など

3. 福祉やサービスの利用について

* 常盤

- ・現在の福祉サービス水準に対しては比較的评价が高い。

* 日高、菊間

- ・現在の福祉サービス水準について评价が低い。充実していない分野として「高齢者に関する福祉」に続いて「子育て支援」

* 上浦

- ・現在の福祉サービス水準に対して比較的评价が高いが、充実していない分野として「高齢者に関する福祉」と並んで「低所得者に関する福祉」の割合が高い。
- ・福祉サービスを充実させるために「総合相談窓口の設置」が望まれている。

* 大三島

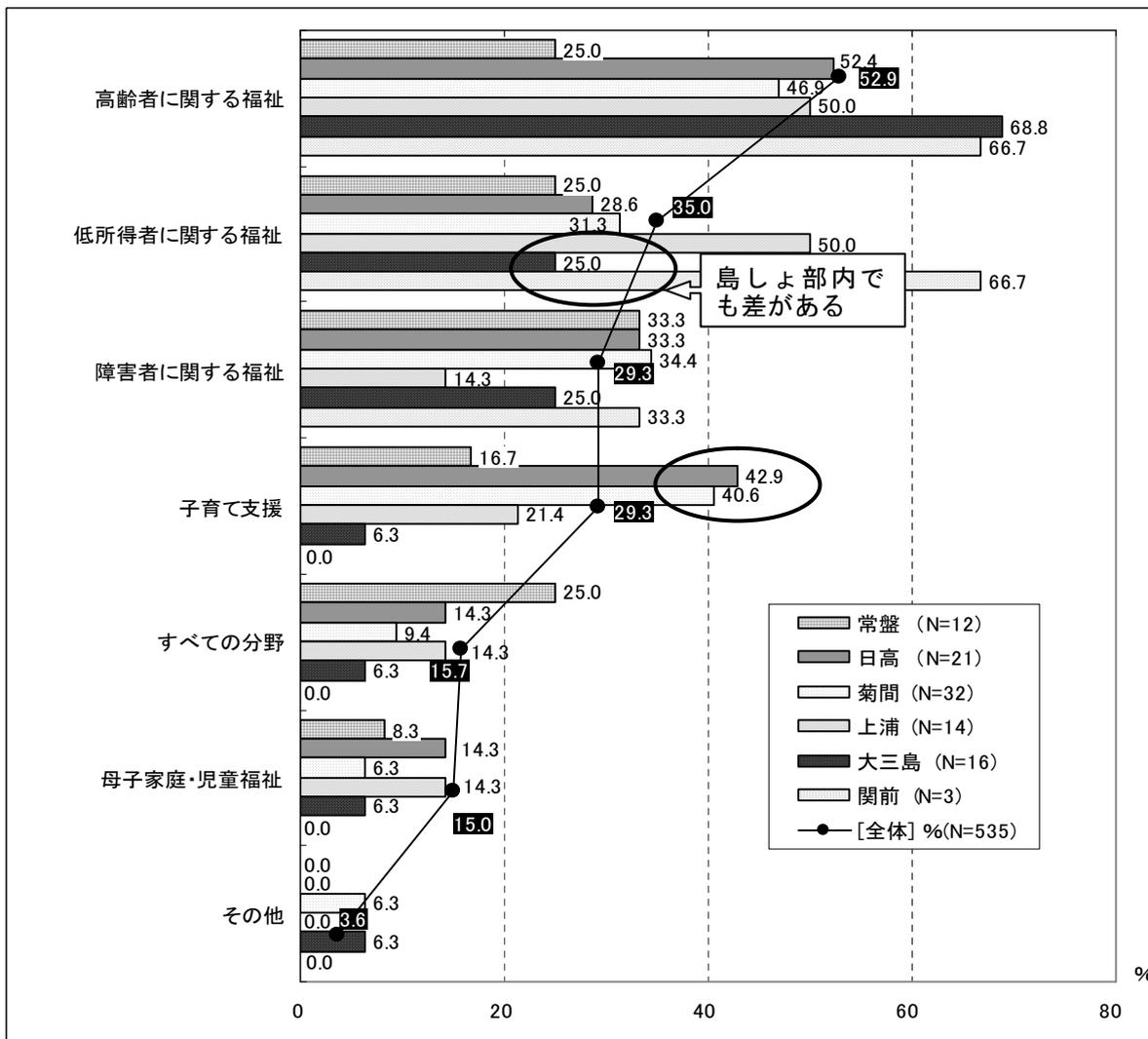
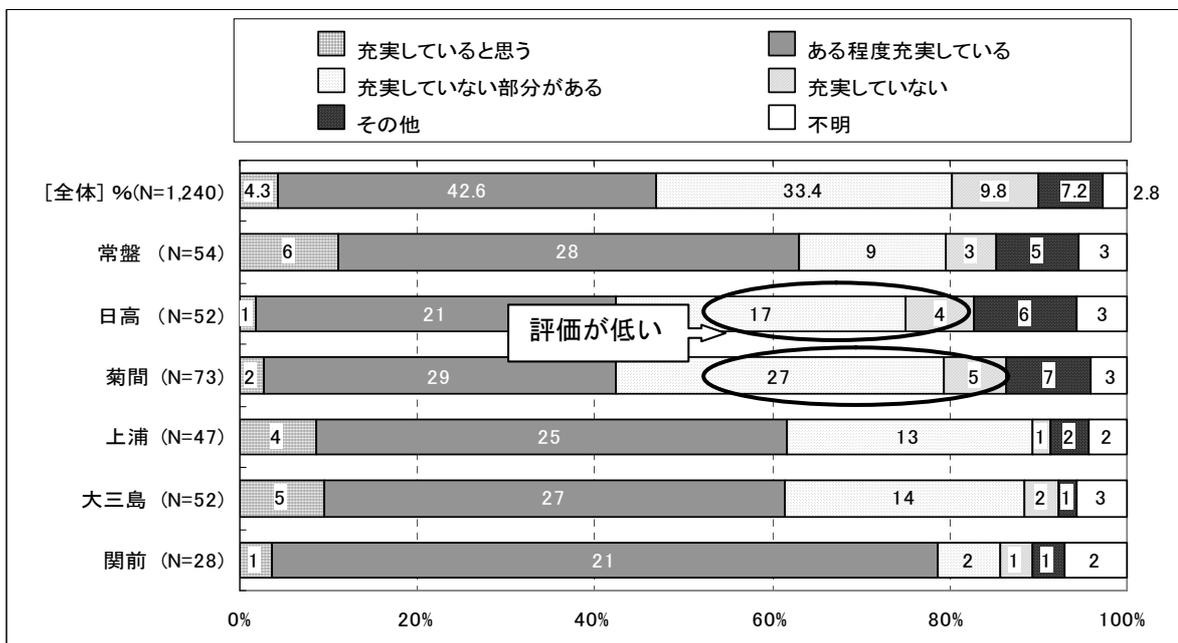
- ・上浦と同様現在の福祉サービス水準に対して比較的评价が高いが、充実していない分野に差があり、大三島では「低所得者に関する福祉」の割合は低く、「高齢者に関する福祉」の割合が全体と比較して高い。

* 関前

- ・現在の福祉サービス水準に対する评价は高い。充実していない分野としては「高齢者に関する福祉」と並んで「低所得者に関する福祉」があげられている。
- ・福祉サービスを充実させるために「情報提供の充実」、「総合相談窓口の設置」が望まれている。また、他地区と比べて「福祉に関する法律や制度についての学習機会の提供」、「NPOやボランティア育成への支援」の割合も高い。

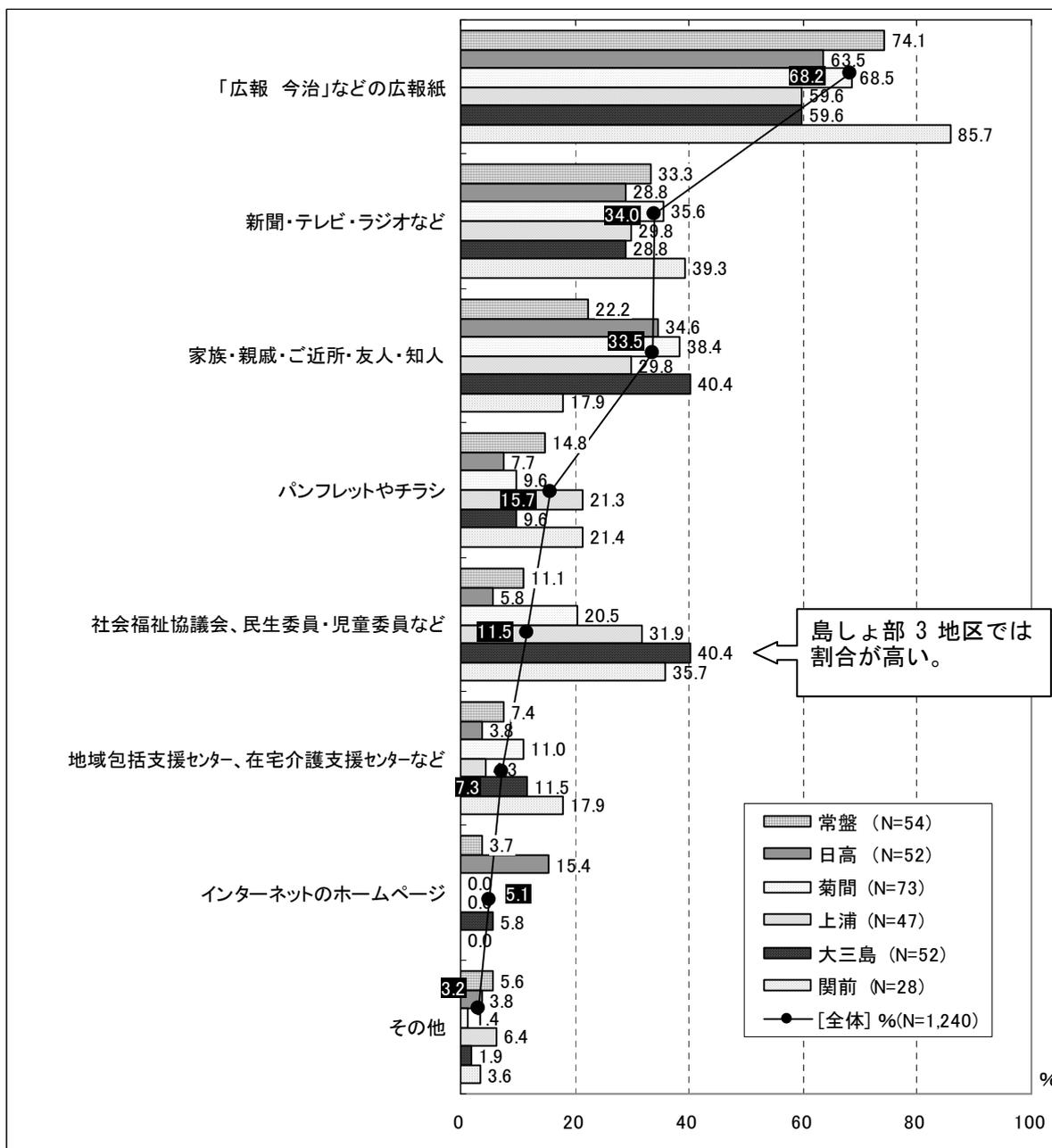
3-1. 現在の福祉サービス（行政だけでなく民間が提供するものも含む）の水準について（問9）

図表 3-9 福祉サービスの水準に対する評価と充実していない分野



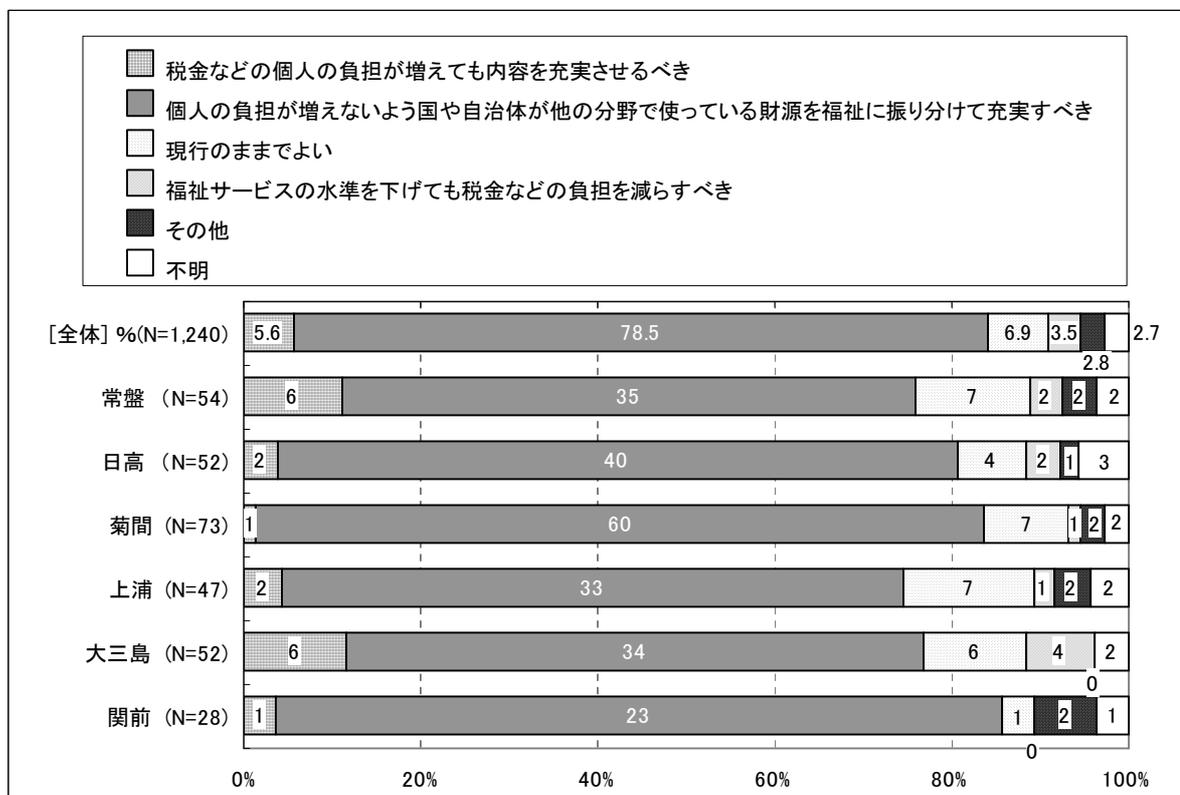
3-2. 福祉サービスに関する情報をどこから得ているか (問10) [複数回答]

図表 3-10 福祉サービスに関する情報



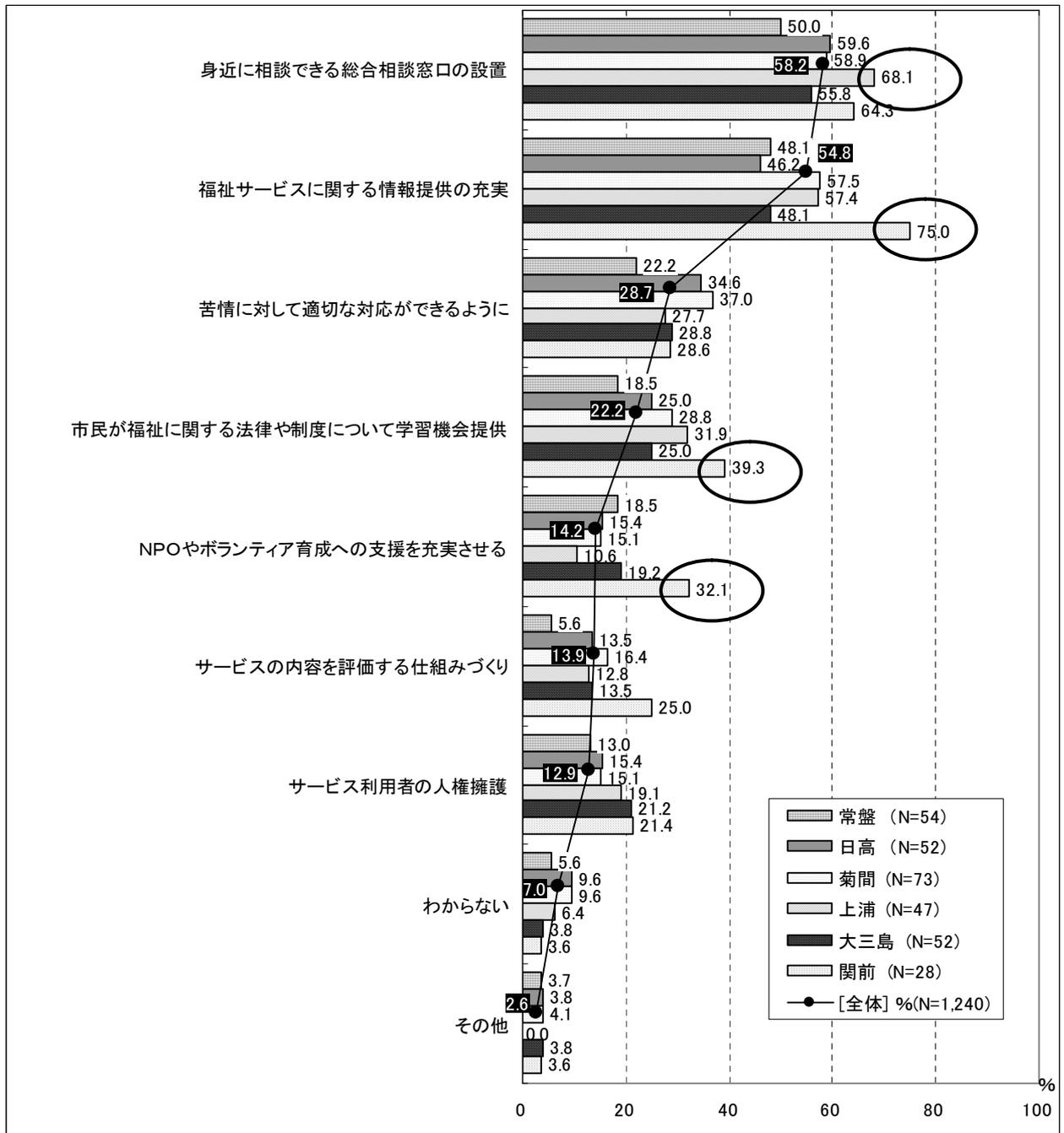
3-3. 行政が行う福祉サービスのこれからのありかたについて (問 11)

図表 3-11 行政が行う福祉サービスのこれからのありかたについて



3-4. 援助を必要とする方が安心して福祉サービスを利用できるようにするために大切なこと
 (問 13) 【複数回答】

図表 3-12 安心して福祉サービスを利用できるようにするために



4. ご近所づきあいや生活の満足度、困りごとの対応について

* 常盤、日高

- ・旧今治市の2地区では「あいさつをする程度」の近所づきあい割合が高い。

* 菊間

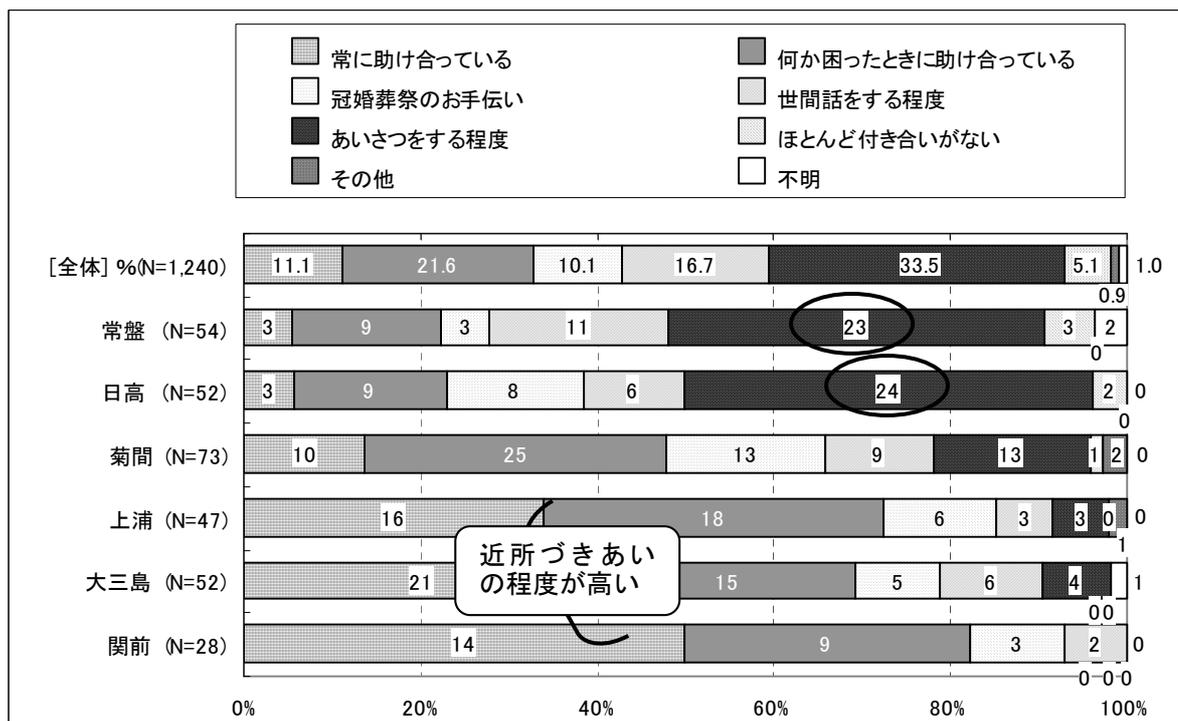
- ・全体に比較して暮らしの満足度がやや低い。

* 上浦、大三島、関前

- ・近所づきあいの程度が高く、「常に助け合っている」、「何か困ったときに助け合っている」あわせて7割以上。それにもなまって暮らしの満足度も高い。また困ったときの相談相手として「ご近所」の割合が全体と比較して高い。
- ・困ったり、不安に思っていることとして、「買い物や通院など」が島しょ部に共通する。
- ・上浦地区では「自分の健康のこと」、「介護のこと」に加えて「災害に関すること」と「防犯に関すること」が困っていることとして上位に位置する。
- ・大三島地区では困っていることとして「自分の健康のこと」の割合が上浦、関前より低く、「とくにない」が上位に位置する。
- ・関前では困っていることとして他地区に比べ「介護のこと」が上位に位置している。

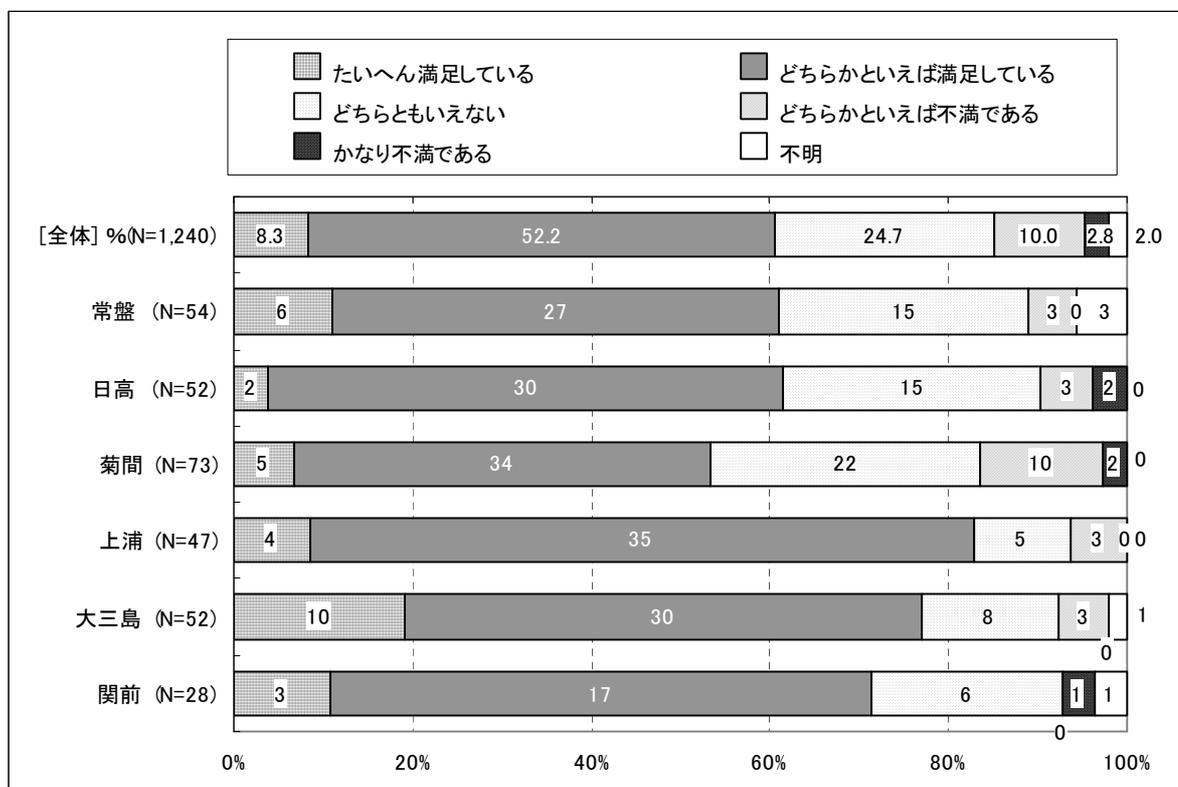
4-1. ご近所の方とのお付き合いの程度 (問14)

図表 3-13 近所との付き合いの程度



4-2. 毎日の暮らしの満足度 (問 15)

図表 3-14 暮らしの満足度



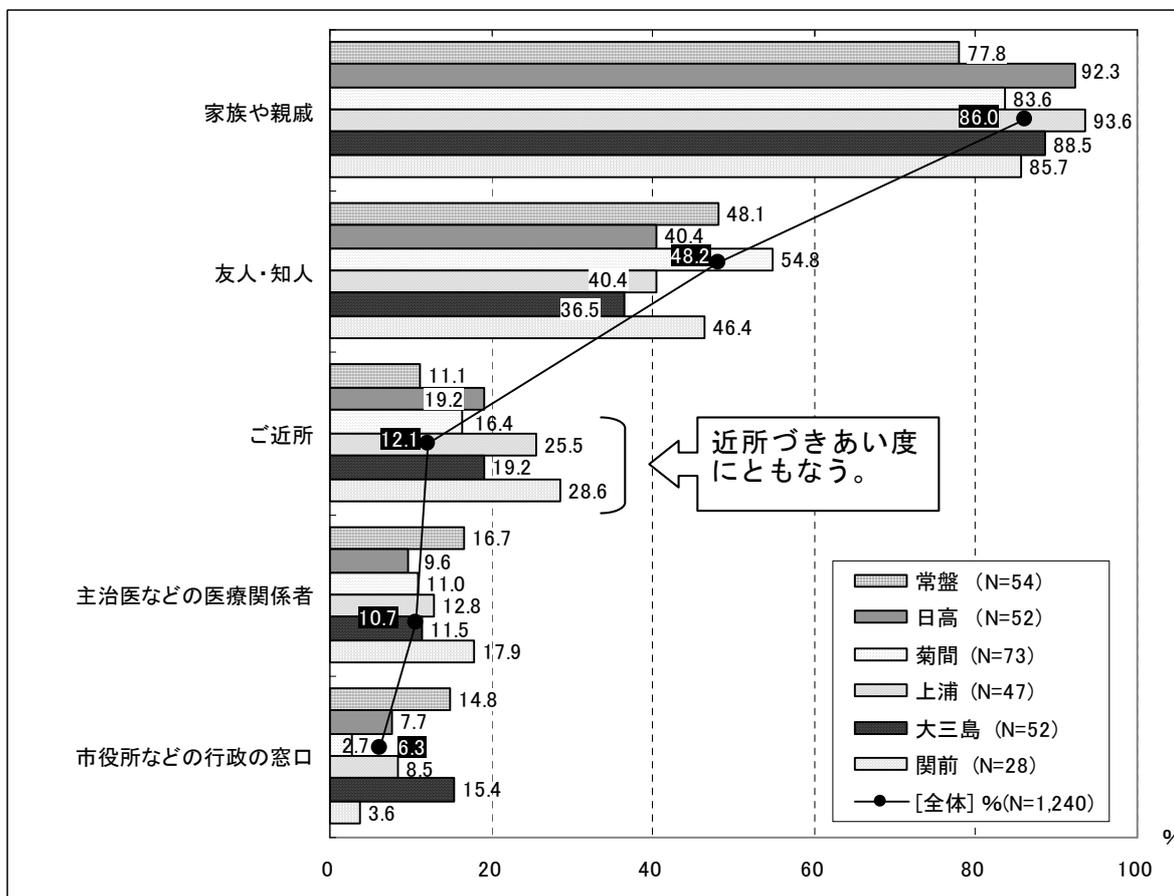
4-3. 毎日の暮らしの中で、困ったり、不安に思っていること (問 16) [複数回答]

図表 3-15 暮らしの中で困ったり、不安に思っていること (上位 5 項目)

	[全体] (N=1,240)	常盤 (N=54)	日高 (N=52)	菊間 (N=73)	上浦 (N=47)	大三島 (N=52)	関前 (N=28)
1	自分の健康のこと	自分の健康のこと	自分の健康のこと	自分の健康のこと	自分の健康のこと	自分の健康のこと	自分の健康のこと
2	生活費のこと	生活費のこと	生活費のこと	生活費のこと	介護のこと	・介護のこと	介護のこと
3	介護のこと	・介護のこと	・介護のこと	仕事のこと	・災害に関すること	・災害に関すること	災害に関すること
4	災害に関すること	・災害に関すること	・災害に関すること		・防犯に関すること	とくにない	生活費のこと
5	仕事のこと	防犯に関すること	・仕事のこと ・住まいや生活環境のこと	・介護のこと ・災害に関すること	買い物や通院など	買い物や通院など	・防犯に関すること ・住まいや生活環境のこと ・買い物や通院など

4-3. 困ったり、不安を感じたときに誰に相談するか (問17) [複数回答]

図表 3-16 困ったり、不安を感じたときの相談相手 (全体の上位5項目)



5. 地域活動やボランティア活動への参加について

* 常盤

- ・地域活動、ボランティア活動ともに「参加したことがない」割合が高い。その理由として「健康や体力に自信がない」、「仕事や勉強で時間がない」に続いて「参加したいと思う活動の情報が得られない」が上位。

* 日高

- ・常盤地区同様に地域活動、ボランティア活動ともに「参加したことがない」割合が高い。その理由として日高地区では「健康や体力に自信がない」、「仕事や勉強で時間がない」に続いて「家事や育児で時間がない」が上位。

* 菊間

- ・自治会やPTAなど地域活動への参加割合は高いが、ボランティア活動については「参加したことがない」割合が高くなっている。

* 上浦

- ・地域活動は参加割合が高く、今後についても積極的参加意向が高い。ボランティア活動は「環境美化」、「高齢者(見守り活動など)」への参加割合が高い。「参加していない(できない)」理由として「一緒に活動する仲間がいない」が上位に位置する。

* 大三島

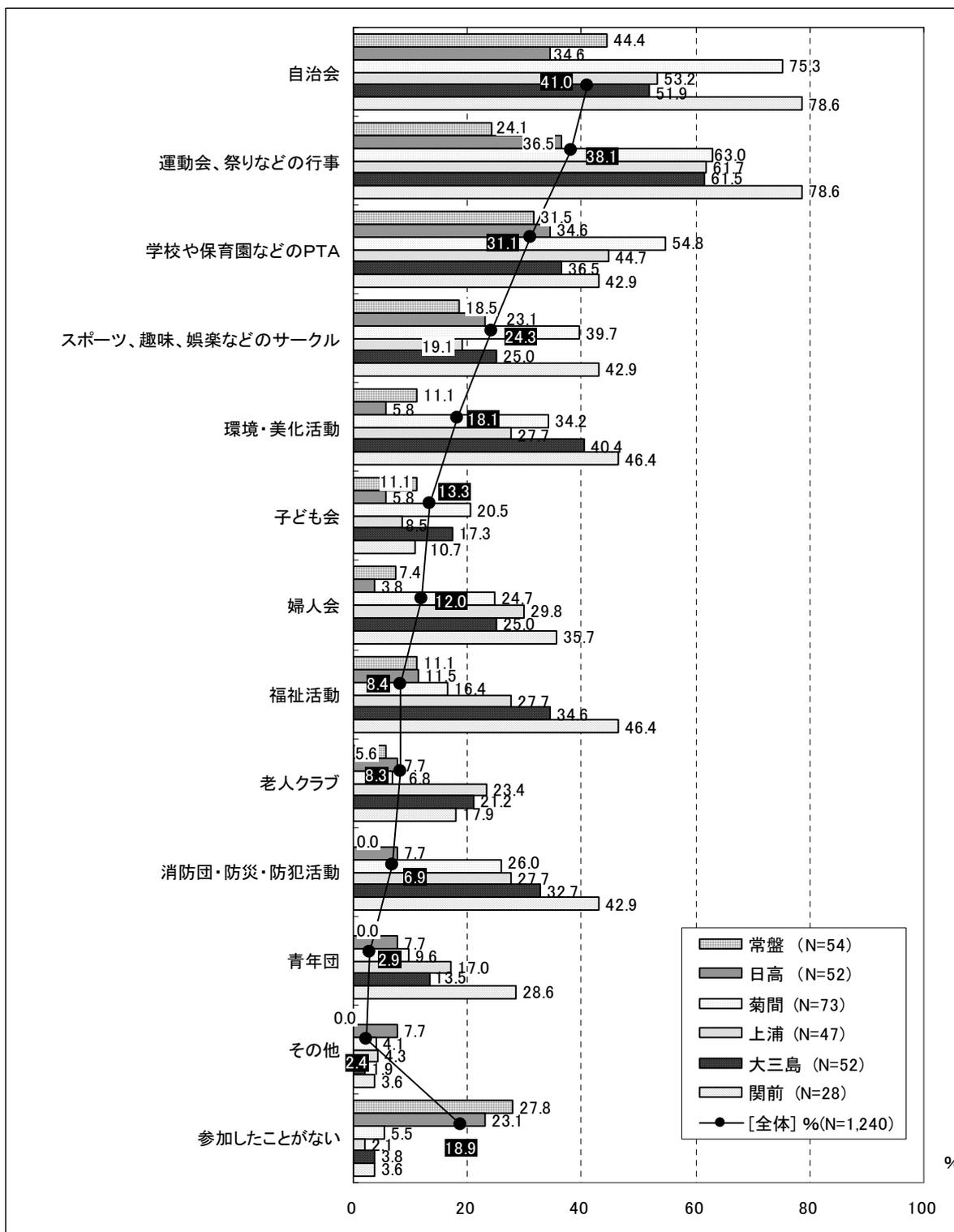
- ・地域活動への参加割合が高く、今後についても積極的参加意向が高い。

* 関前

- ・地域活動への参加割合が高く、今後についても積極的参加意向が非常に高い。ボランティア活動では「環境美化」、「高齢者(見守り活動など)」とともに「文化・教育・スポーツ」、「人権尊重」活動への参加割合が高い。

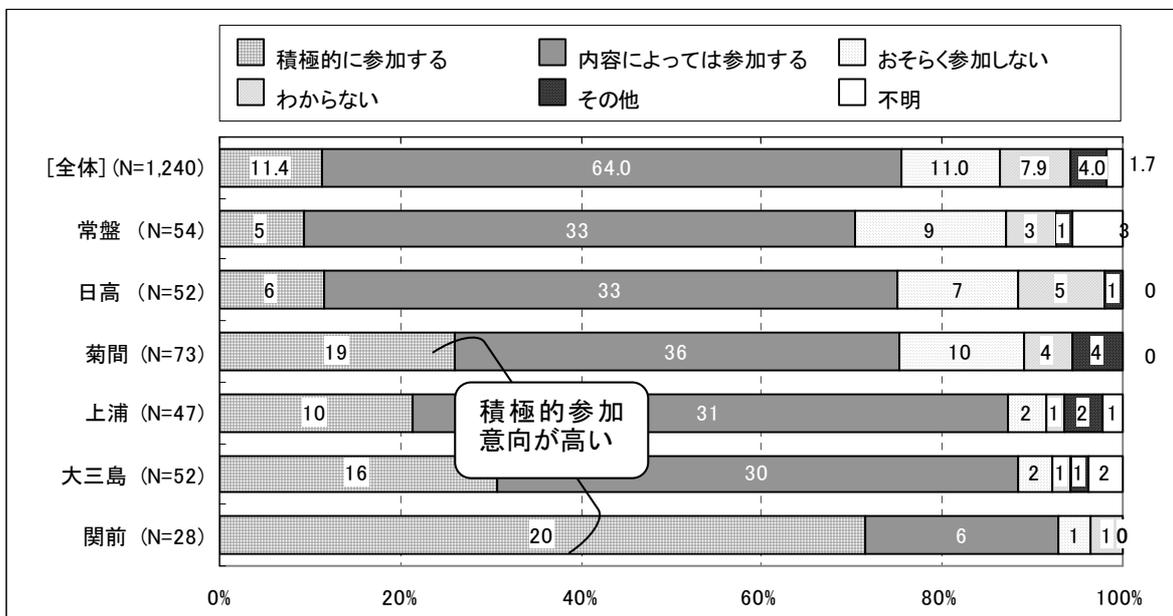
5-1. 現在参加しているまたは過去に参加した地域活動（問 18-1） [複数回答]

図表 3-17 地域活動への参加状況



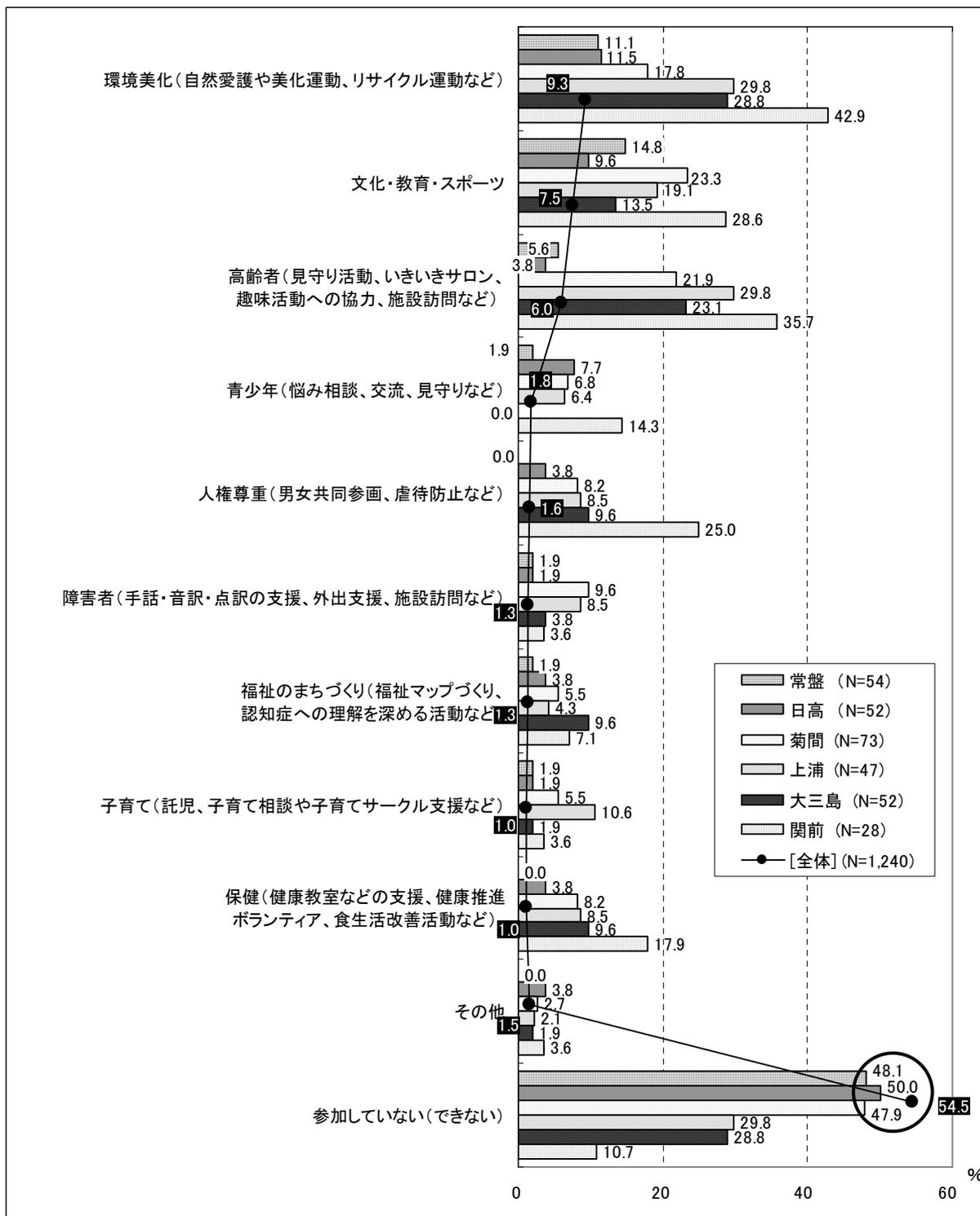
5-2. 地域活動への参加をお願いされた場合どうするか（問 18-2）

図表 3-18 地域活動への参加意向



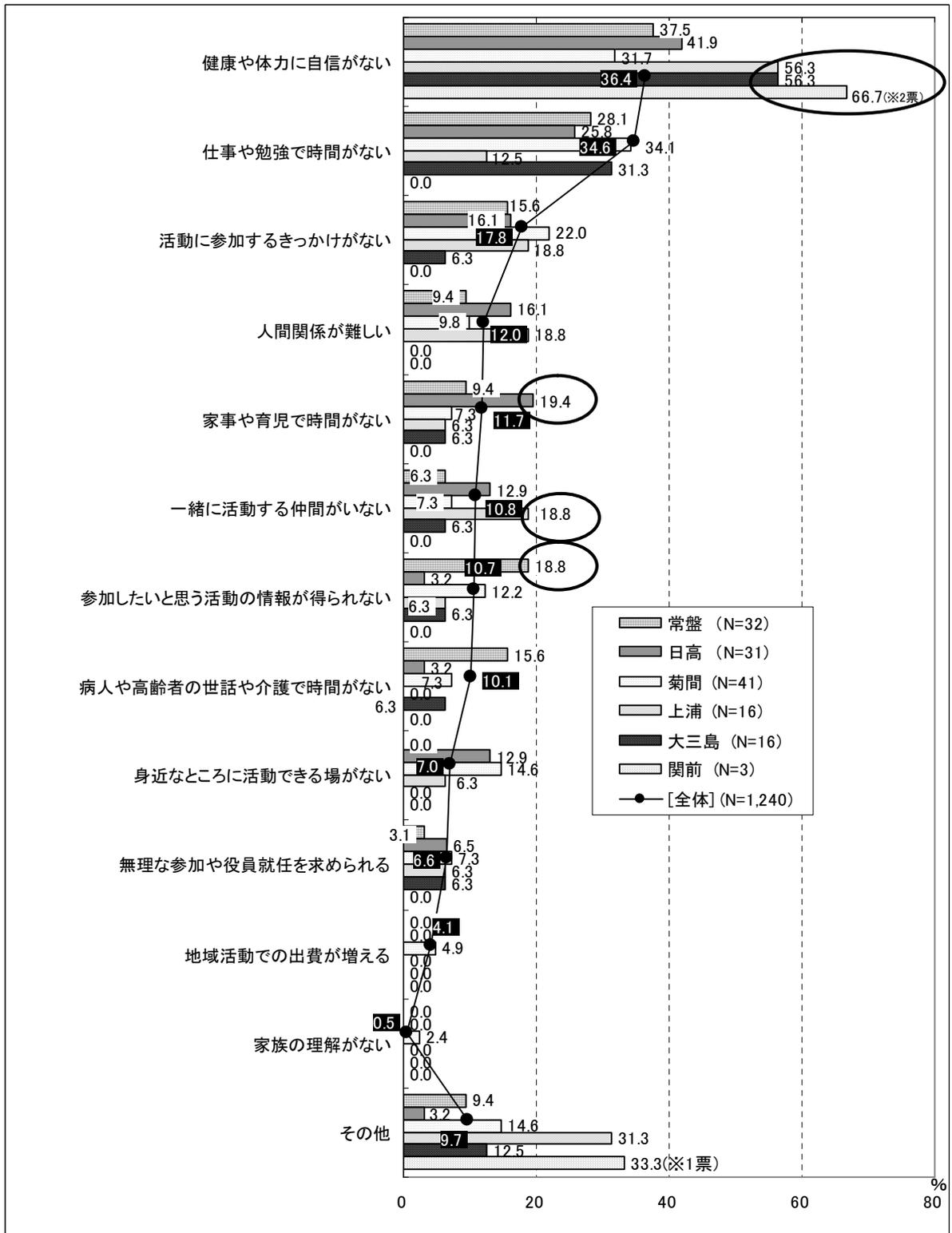
5-3. ボランティア活動への参加と今後の参加意向 (問19) [複数回答]

図表 3-19 ボランティア活動への参加状況



5-4. 地域活動やボランティア活動に参加していない、参加できない方について、参加がむずかしい理由（問 20） [複数回答]

図表 3-20 ボランティア活動へ参加していない、参加できない理由



6. 住民同士の助け合いについて

* 常盤

- ・助け合いを活発にするために必要なこととして「地域活動の中でのリーダーや福祉活動に携わる人の育成」が上位。

* 菊間

- ・手伝ってほしいこととして「話し相手になること」が最も多い。
- ・助け合いを活発にするために必要なこととして「地域の伝統的な行事や特徴的な取組をつうじて」が上位。

* 上浦

- ・「外出への同行」が手伝ってほしいこと、出来ることともに上位に位置する。また「防犯、防災のための巡回」が手伝ってほしいこととして上位に位置する。
- ・助け合いを活発にするために必要なこととして「地域における福祉活動の活動費、運営費などの資金援助」、「地域の活動の積極的な情報提供と参加の呼びかけ」が上位。

* 大三島

- ・助け合いを活発にするために必要なこととして「地域の伝統的な行事や特徴的な取組をつうじて」、「地域で活動されている人たちの連携づくり」が上位。

* 関前

- ・助け合いを活発にするために必要なこととして「地域で活動されている人たちの連携づくり」が上位。

6-1. もし介護や支援を必要とするなど日常生活で不自由になったとき、地域やご近所で手伝ってほしいこと (問 22) [複数回答]

図表 3-21 地域やご近所で手伝ってほしいこと (上位 5 項目)

	[全体] (N=1,240)	常盤 (N=54)	日高 (N=52)	菊間 (N=73)	上浦 (N=47)	大三島 (N=52)	関前 (N=28)
1	災害時の避難支援・安否確認	災害時の避難支援・安否確認	あいさつや安否確認などの声かけ	話し相手になること	あいさつや安否確認などの声かけ	あいさつや安否確認などの声かけ	あいさつや安否確認などの声かけ
2	あいさつや安否確認などの声かけ	あいさつや安否確認などの声かけ	災害時の避難支援・安否確認	災害時の避難支援・安否確認	災害時の避難支援・安否確認	災害時の避難支援・安否確認	・災害時の避難支援・安否確認
3	買い物の手伝い・代行	ごみ出し	ごみ出し	あいさつや安否確認などの声かけ	外出への同行	買い物の手伝い・代行	・話し相手になること
4	食事の用意	食事の用意	買い物の手伝い・代行	相談相手になること	買い物の手伝い・代行	相談相手になること	・買い物の手伝い・代行
5	ごみ出し	・買い物の手伝い・代行 ・ <u>外出への同行</u>	・食事の用意	買い物の手伝い・代行	防犯・防災のための巡回	・食事の用意 ・ごみ出し	・食事の用意

6-2. 近くに困っている世帯があったときあなたが出来る支援や協力 (問 23) [複数回答]

図表 3-22 できる支援や協力(上位 5 項目)

	[全体] (N=1,240)	常盤 (N=54)	日高 (N=52)	菊間 (N=73)	上浦 (N=47)	大三島 (N=52)	関前 (N=28)
1	あいさつや安否確認などの声かけ	あいさつや安否確認などの声かけ	あいさつや安否確認などの声かけ	あいさつや安否確認などの声かけ	あいさつや安否確認などの声かけ	あいさつや安否確認などの声かけ	あいさつや安否確認などの声かけ
2	話し相手になること	災害時の避難支援・安否確認	ごみ出し	話し相手になること	買い物の手伝い・代行	話し相手になること	相談相手になること
3	災害時の避難支援・安否確認	ごみ出し	災害時の避難支援・安否確認	・災害時の避難支援・安否確認	外出への同行	買い物の手伝い・代行	ごみ出し
4	ごみ出し	話し相手になること	話し相手になること	・買い物の手伝い・代行	話し相手になること	・災害時の避難支援・安否確認	・話し相手になること
5	買い物の手伝い・代行	・ <u>相談相手になること</u> ・ <u>防犯・防災のための巡回</u>	買い物の手伝い・代行	相談相手になること	災害時の避難支援・安否確認	・ <u>相談相手になること</u>	・買い物の手伝い・代行

6-3. 地域における助け合いを活発にするために必要なこと (問 24) [複数回答]

図表 3-23 助け合いを活発にするために必要なこと

	[全体] (N=1,240)	常盤 (N=54)	日高 (N=52)	菊間 (N=73)	上浦 (N=47)	大三島 (N=52)	関前 (N=28)
1	普段からの付き合い	普段からの付き合い	普段からの付き合い	普段からの付き合い	普段からの付き合い	普段からの付き合い	普段からの付き合い
2	日常的な声かけ	日常的な声かけ	日常的な声かけ	日常的な声かけ	日常的な声かけ	日常的な声かけ	日常的な声かけ
3	集まれる場所づくり	・集まれる場所づくり	集まれる場所づくり	伝統的な行事等	情報を得やすくする	伝統的な行事等	・集まれる場所づくり
4	情報を得やすくする	・リーダー等育成	情報を得やすくする	困っている人同士の交流	資金援助	連携づくり	・情報を得やすくする
5	困っている人同士の交流	情報を得やすくする	困っている人同士の交流	集まれる場所づくり	参加呼びかけ	・集まれる場所づくり ・情報を得やすくする	連携づくり

-
- 普段からの付き合い : 隣近所の住民同士の普段からの付き合い
-
- 日常的な声かけ : 高齢者や子どもなどへの日常的な声かけ
-
- 集まれる場所づくり : 誰もが集まれる身近な場所づくり
-
- 情報を得やすくする : 困っている人や助け合いの場についての情報を得やすくする
-
- 困っている人同士の交流 : 同じような問題で困っている人同士の交流
-
- 伝統的な行事等 : 地域の伝統的な行事や特徴的な取組をつうじて
-
- リーダー等育成 : 地域活動の中でのリーダーや福祉活動に携わる人の育成
-
- 参加呼びかけ : 地域の活動の積極的な情報提供と参加の呼びかけ
-
- 連携づくり : 地域で活動されている人たちの連携づくり
-
- 資金援助 : 地域における福祉活動の活動費、運営費などの資金援助
-

7. 災害・防災について

* 常盤

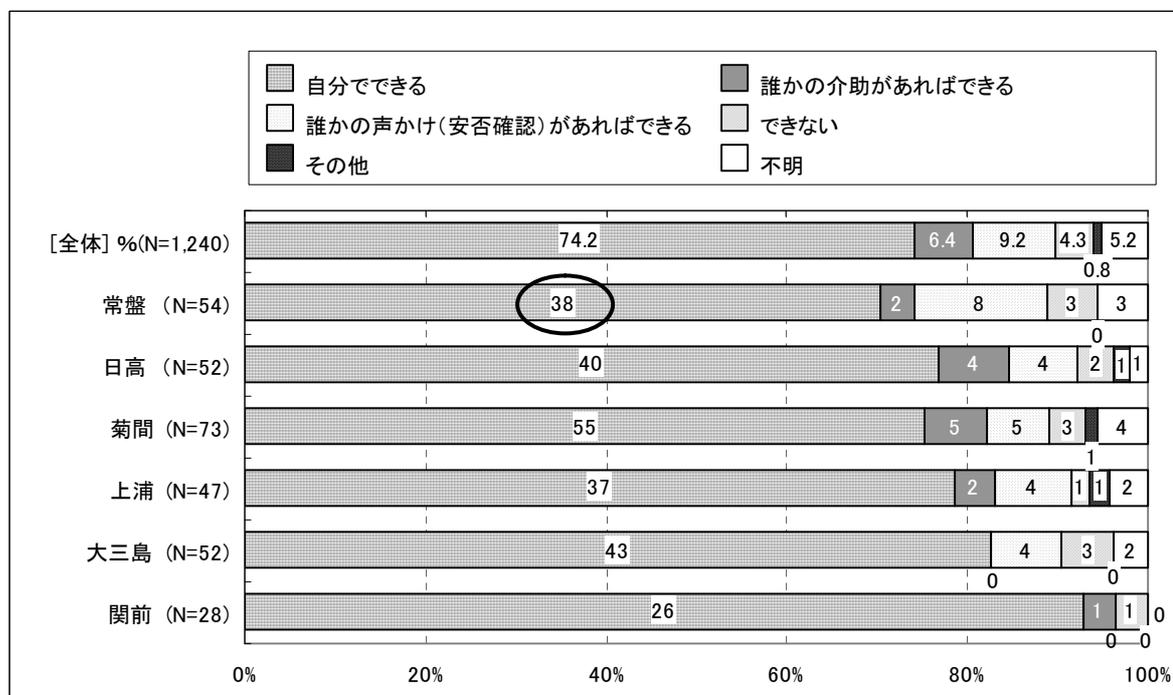
- ・災害時、「自分で避難できる」割合が全体に比較して低く、しかも避難支援者が「いない」とする割合が高くなっている。

* 上浦、大三島、関前

- ・島しょ部では避難支援について「いる（近所の人・友人）」とする割合が高い。島しょ部の3地区の中で、大三島地区でその割合が上浦、関前地区に比較して低くなっている。
- ・個人情報の取り扱いについて、同意の有無の別はあるが「平時における情報提供も構わない」、「やむを得ない」とする割合が高い。

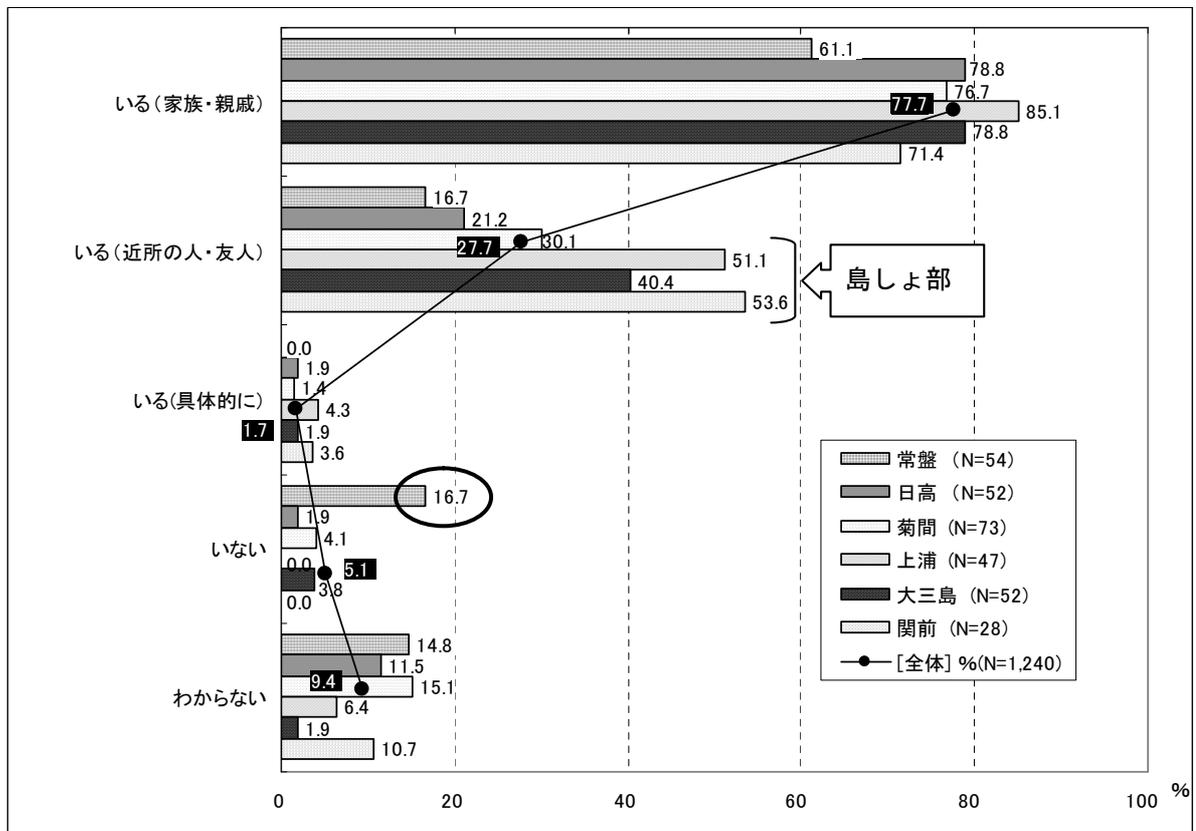
7-1. 風水害や地震などがおこったとき一人で避難できるか （問 25）

図表 3-24 災害時の避難



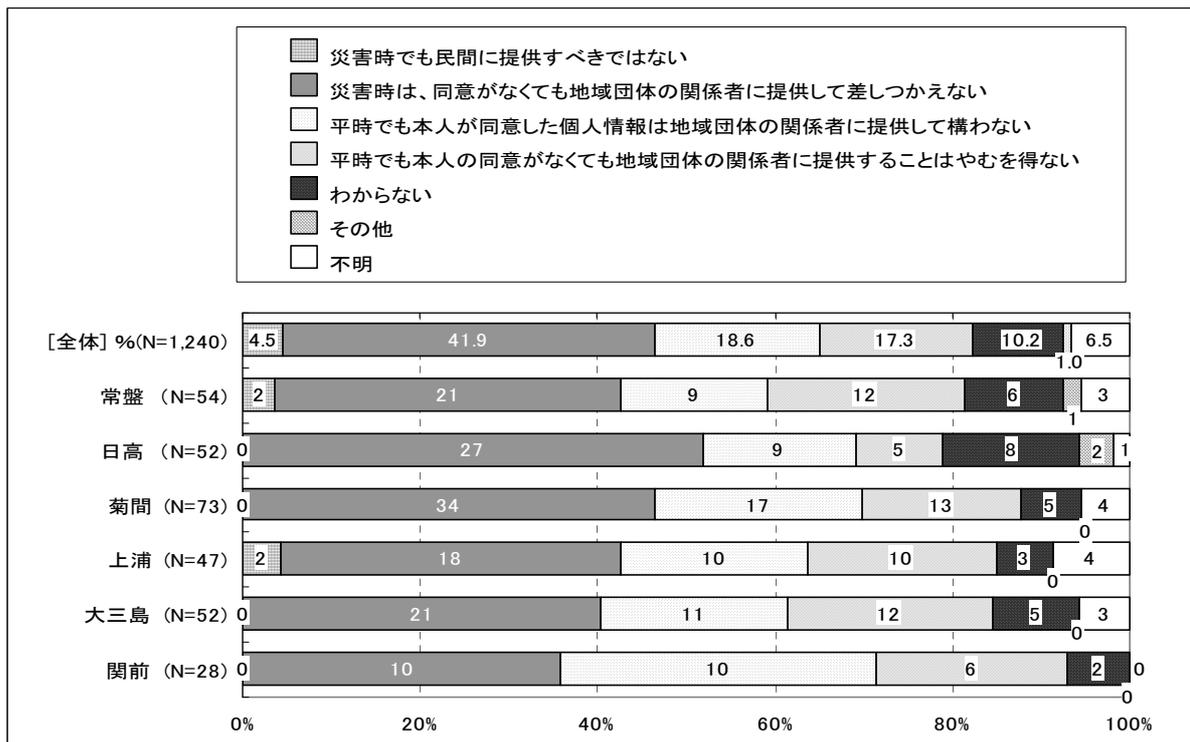
7-2. 風水害や地震などがおこったとき助けてくれる人はいるか (問26) [複数回答]

図表 3-25 災害時の避難支援



7-3. 風水害や地震などがおきた場合の安否確認や避難支援のための個人情報の取り扱いについて (問27)

図表 3-26 災害時の個人情報の取り扱い



8. 今治市の施策について

* 常盤

- ・全体と同様「防災・防犯」、「相談窓口の充実」が上位。

* 日高

- ・「保健福祉に関する情報提供」、「在宅生活や子育てなどを支えるサービスの充実」が上位。

* 菊間

- ・「通院や買い物などに必要な交通手段の充実」、「保健福祉に関する情報提供の充実」が上位。

* 上浦、大三島、関前

- ・共通して「通院や買い物などに必要な交通手段の充実」が上位。
- ・関前地区では上位項目のうち、「住民が共に支えあうしくみづくりへの支援」、「地域の生活課題や問題点を共有し、解決を一緒に考えてくれる職員の配置」の割合が高い。

8-1. 今後、今治市が優先的に取り組むべき施策（問 28）【複数回答】

図表 3-27 今後優先的に取り組むべき施策（上位 5 項目）

	[全体] (N=1, 240)	常盤 (N=54)	日高 (N=52)	菊間 (N=73)	上浦 (N=47)	大三島 (N=52)	関前 (N=28)
1	防災・防犯など安心・安全なまちづくり	防災・防犯など安心・安全なまちづくり	防災・防犯など安心・安全なまちづくり	防災・防犯など安心・安全なまちづくり	防災・防犯など安心・安全なまちづくり	住民が共に支えあうしくみづくりへの支援	住民が共に支えあうしくみづくりへの支援
2	身近なところでの総合的な相談窓口の充実	身近なところでの総合的な相談窓口の充実	住民が共に支えあうしくみづくりへの支援	住民が共に支えあうしくみづくりへの支援	通院や買い物などに必要な交通手段の充実	通院や買い物などに必要な交通手段の充実	通院や買い物などに必要な交通手段の充実
3	高齢者、障害者、児童などの福祉施設の整備	住民が共に支えあうしくみづくりへの支援	保健福祉に関する情報提供の充実	通院や買い物などに必要な交通手段の充実	住民が共に支えあうしくみづくりへの支援	地域の生活課題や問題点を共有し、解決を一緒に考えてくれる職員の配置	地域の生活課題や問題点を共有し、解決を一緒に考えてくれる職員の配置
4	住民が共に支えあうしくみづくりへの支援	高齢者、障害者、児童などの福祉施設の整備	在宅生活や子育てなどを支えるサービスの充実	身近なところでの総合的な相談窓口の充実	身近なところでの総合的な相談窓口の充実	防災・防犯など安心・安全なまちづくり	防災・防犯など安心・安全なまちづくり
5	通院や買い物などに必要な交通手段の充実	健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実 地域の生活課題や問題点を共有し、解決を一緒に考えてくれる職員の配置	高齢者、障害者、児童などの福祉施設の整備	健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実 保健福祉に関する情報提供の充実	高齢者、障害者、児童などの福祉施設の整備 地域の実情に詳しい職員の育成	身近なところでの総合的な相談窓口の充実	身近なところでの総合的な相談窓口の充実 地域の実情に詳しい職員の育成

3-1-4 モデル地区座談会の結果

3-1-4-① 実施概要

■目的

モデル地区の住民、当事者団体等の参加・協力により、各地域の生活課題とその解決に向けての公的、私的サービス・機能の現状と課題、住民同士の「共助」等の地域資源についての情報を把握し、その多様な地域資源の活用可能性の検討などにより、現存する共助・つながりや他圏域との交流等を、今後活かしていく方向性を探り、新今治市としての地域福祉施策の展開に結びつけていくことを目的とする。

また、座談会への参加・検討を通じて、地域住民の共助・つながりによる地域福祉への意識啓発、リーダー発掘・育成、ネットワークの構築、地域再生の機会とする。

■対象

次の活動等に参加している住民及び関心を持っている住民を対象として、市より関係団体や子育て期(幼児・児童・生徒)の父母から高齢者まで、幅広い年齢層の個人に依頼し、各地区ともに30人前後の参加者により実施した。また各回とも社会福祉協議会職員3～4名に参加を依頼した。

- ①地域活動団体：自治会関係者、民生委員・児童委員、主任児童委員、公民館登録団体代表、老人クラブ、婦人会、小・中学校PTA関係者、交通安全推進協議会、青少年補導委員、消防団等関係者、地区消防後援会、地区体育振興会、自主防災組織、保育所母親クラブ、人権擁護委員、地域審議会関係者
- ②ボランティア活動団体：ボランティア連絡会、エプロン会
- ③地域の公共公益施設の管理・運営者：地区住民センター(所長)、地区学習センター(館長)、地区公民館(館長)
- ④本研究委員会の委員

■時期

平成20年8月～10月

■方法

6つのモデル地区で各2回(関前地区のみ3地区に分けて各1回)実施

■内容

モデル地区座談会は、市、市民活動団体等それぞれの役割を踏まえながら、多分野にわたる社会資源の連携による望ましい地域福祉のあり方、現存する共助・つながりや他圏域との交流等を、今後活かしていく方向性の発見、取組について討議を行った。

【第1回】

講師による地域における「新たな支え合い」の考え方の紹介等地域福祉についての話題提供を行った。

各地域において地域福祉としてどのような施設やサービスがあり、現在どんな施策・事業・サービス等が行われているのかを紹介しあい、現在の地域での生活課題、地域での共助やつながりの状況、地域福祉に関する問題点、課題などについて、意見交換等を行った。

- 「これからの地域福祉について」の話題提供
- 現在の地域での生活課題（対象、領域別）
- 生活課題を解決している自助、共助の実態と課題

【第2回】

地域福祉活動の先進事例紹介、第1回目の座談会結果（地域での生活課題、現在の共助やつながりの状況、地域福祉の課題）の中間報告、その後、それらを参考に「今治市あるいはモデル地区において、現存する共助・つながりや他圏域との交流等、多様な地域資源を活用した地域福祉のあり方や方向性について話し合いをした。

- 地域福祉活動の先進事例紹介
- 第1回目のまとめ（地域における生活課題の実態と課題等）
- 生活課題への対応方策（自助、共助、公助別）
- 望ましい地域のあり方（地域福祉の理念）

(注) ●: 情報提供・共有 ○: 座談会での作業・成果

3-1-4-② 座談会の結果

座談会の結果を総合的に整理すると以下の表の通りである。

日常 生活の 困り事、 心配事	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯への対応 ○バリアフリー化 ○防災の取組 ○地域のまとまりづくり ○自治会組織等の維持・地域運営 ○環境美化(ゴミだし等) 	<p>[[旧今治市内]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育て環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・保育サービスの充実 ・子どもの生活の安定 ・子育ての負担軽減 ・子どもの遊び場 ○誰もが共に暮らしよい地域づくり <ul style="list-style-type: none"> ・新旧住民、障害者、外国人、誰もがともに ○近所の交流促進 	<p>[[旧越智郡陸地部]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○治安の維持 ○川や海の清掃 	<p>[[旧越智郡島しょ部]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○母親同士の交流・情報交換の機会づくり ○教育環境の確保
	<ul style="list-style-type: none"> ○交通利便性・移動手段、生活利便施設の確保 ○医療の緊急時対応と小児医療 ○地域行事や伝統行事の継続 ○空き家の管理 ○農業環境の維持、働く場の確保 			
困り事への対策	<p>自分でできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○近所づきあいを大切に ○近隣との情報交換 ○交流の場へ参加 ○健康管理 ○防災対策(家具転倒防止、避難用品常備など) 			
	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○元気高齢者育成 ○親子ふれあい、世代間交流の機会づくり ○地域で子どもを守り育てる ○防災意識向上の取組 ○地域活動組織の見直し ○ボランティア育成 	<p>[[旧今治市内]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども会活動参加促進 ○つながりづくり <ul style="list-style-type: none"> ・向こう三軒両隣再生 ・強制的交流 ○自治会の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・加入ポイント制導入 ・話し合いの場づくり ○防災の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・小地域での防災訓練 ・対策話し合い開催 ・防災マップづくり 	<p>[[旧越智郡陸地部]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生きがいづくり ○自主防災組織の活性化 	<p>[[旧越智郡島しょ部]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人暮らし弱者対策 <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし家庭マップ ・一人暮らし家庭の緊急連絡先把握 ○買い物支援、生活手伝い ○不審者対策 ○コミュニティバス
	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報公開・情報提供 ○各種団体、地域のネットワーク ○交流事業・機会提供 ○講習会・研究会の開催 ○連携 ○相談・コーディネート 	<p>[[旧今治市内]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育体制の充実 ○スクールカウンセラーの充実 ○道路の安全確保 ○子どもの目で地域を考える機会創出 ○食育 ○ゴミに関する条例化 	<p>[[旧越智郡陸地部]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防犯組織づくり ○公共施設のバリアフリー化 	<p>[[旧越智郡島しょ部]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通施設の充実 ○生活利便施設の充実 ○教育レベルの確保 ○U・J・ターン者の受入れ ○定期的な座談会開催
<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小地域でのサロンづくり(空き家や学校活用) ○福祉コミュニティリーダーの育成 ○地域の魅力を活かした活性化 	<p>[[旧今治市内]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小地域での話し合い ○地域での声かけの徹底 	<p>[[旧越智郡陸地部]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安心・安全のしくみづくり 	<p>[[旧越智郡島しょ部]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○共同で移動手段の確保 ○買い物支援 ○地区別の相談会 ○定住の取組(職場確保、借家斡旋等) ○地域検定の実施 	
望ましい地域にするための新たな取組				

座談会の結果の項目別のまとめ

■日常生活の困り事、心配事

旧今治市内では子どもの生活が不安定、子育ての負担が大きいなどの子育てに関する課題、近所の交流が少ないなどの課題があげられ、陸地部、島しょ部では高齢者の移動手段がない、交通が不便、地域行事や伝統行事などの継続が難しいなどの課題があげられている。

市内共通の項目
 旧今治市内の項目
 旧越智郡陸地部の項目
 旧越智郡島しょ部の項目

	日常生活の困り事、心配事	旧今治市内		旧越智郡 陸地部	旧越智郡島しょ部		
		常盤	日高	菊間	上浦	大三島	関前
お年寄りが住み慣れた土地で暮らすために	<input type="checkbox"/> 高齢者のみ世帯の増加	○		○		○	
	<input type="checkbox"/> 一人暮らし高齢者の増加	○	○	○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> 一人暮らし高齢者等の孤独／一人暮らし等の高齢者への手助け、コミュニケーションの難しさ	○	○	○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> 買い物、食事の用意等日常生活に困る	○		○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> 高齢者の運転が危険				○	○	
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 通院、買い物等高齢者の移動手段がない。			○	○	○	
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地域活動等高齢者には負担が大きい。			○	○	○	
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 経済的困難			○		○	
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 通院、福祉センター利用にお金がかかる。利用しにくい			○	○		○
子どもや子育てのこと	<input type="checkbox"/> 介護サービス等がわかりにくい。	○		○			○
	<input type="checkbox"/> 若者が少なくまちの活気がない。	○		○		○	
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 子どもが少ない。少子化			○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 小児科の病院がない。乳幼児健診が不便			○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 小中学校の統廃合、教育環境の低下(競争力低下)				○	○	○
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 保育所の今後、合併による保育料値上げ			○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> 旧今 保育所の数、サービス内容・時間	○	○				
	<input type="checkbox"/> 旧今 子どもの生活が不安定	○	○				
	<input type="checkbox"/> 旧今 保護者の子どもに対する関心の差	○	○				
	<input type="checkbox"/> 旧今 地域社会へ参加しない家庭への働きかけ、支援	○	○				
	<input type="checkbox"/> 子どもの遊び場、遊具がない。(公園、屋内)	○	○	○	○		
	<input type="checkbox"/> 旧今 サロン、広場等、利用施設の駐車場不足		○				
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 子ども連れで利用、食事できる場所が少ない。			○	○		
	<input type="checkbox"/> 旧今 子育ての情報を知らない。	○					
	<input type="checkbox"/> 旧今 近くに身内がおらず子育ての負担が大きい。		○				
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> お母さん同士の交流の場がない。						○	
<input type="checkbox"/> 旧今 <input type="checkbox"/> 家庭と学校との協力のあり方	○	○		○			

市内共通の項目
 旧今 旧今治市内の項目
 陸 旧越智郡陸地部の項目
 島 旧越智郡島しょ部の項目

	日常生活の困り事、心配事	旧今治市内		旧越智郡 陸地部	旧越智郡島しょ部		
		常盤	日高	菊間	上浦	大三島	関前
障害者とともに地域で暮らすために	<input type="checkbox"/> バリアフリー化が十分でない。	○		○		○	
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 障害者の方への対処、サポート		○		○	○	
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 精神障害者への対応の仕方がわからない。	○				○	
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 駐車場の障害者スペースへの一般駐車、点字ブロックへの自転車停車	○	○				
防犯や防災のこと	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンビニ強盗、空き巣等、治安が心配			○	○		○
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 空き家の増加、不審火など管理問題				○	○	
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 街灯が少ない、道が暗い。	○	○		○		
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 通行量の増加等、道路に危険な箇所がある。	○	○	○			
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 交通マナーが悪い。	○	○		○		
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 防犯活動の定着	○					
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 防災に対する対応が不十分	○	○	○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 消防団員の高齢化、減少					○	○
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 公園等の公共空間の施設管理が不十分	○					
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 形だけの見守り活動しか出来ていない。			○				
コミュニティのこと(地域での助け合い)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 近所の交流が少ない。	○	○			○	○
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 外国人の増加	○					
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地域のまとまりがない。	○	○	○	○		○
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 自治会役員等地域運営が特定の人負担になる。	○	○	○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 自治会組織等の維持が難しい。	○	○	○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 行事等への参加が少ない。			○	○		○
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地域行事、伝統行事の継続が難しい。			○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 荒畑、空き家等が多く管理しにくい。			○		○	○
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 各組織の横のつながりが弱い。		○		○			
その他	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ゴミ出しマナーが悪い。ルールが分かっていない。	○	○	○	○		○
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ゴミの放棄、不法投棄(道路、田、川、海)	○	○	○	○	○	
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 犬、猫のフン放置	○	○	○			○
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 交通の便が悪い。			○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 生活利便施設が少ない。			○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 働く場がない。				○	○	○
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 農業の不安定要素			○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 野良犬が多い。			○	○	○	○
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 植えている花をぬく。	○	○					

■困り事への対策「自分でできること」

近所づきあいを大切にする、近隣との情報交換などが対策として出されている。

市内共通の項目
 旧今 旧今治市内の項目
 陸 旧越智郡陸地部の項目
 島 旧越智郡島しょ部の項目
 網掛け項目は「これからやれたらいいこと」、網掛けのない項目は「今やっていること」

	困り事への対策「自分でできること」	旧今治市内		旧越智郡 陸地部	旧越智郡島しょ部		
		常盤	日高	菊間	上浦	大三島	関前
お年寄りが住み慣れた土地で暮らすために	<input type="checkbox"/> 声かけ、訪問等	○	○	○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 旧今 <input type="checkbox"/> 陸 自分の健康管理	○		○			
	<input type="checkbox"/> 島 数人の買い物(認知症予防)					○	
	<input type="checkbox"/> 島 文化活動、行事へ参加					○	○
	<input type="checkbox"/> 島 車の乗り合わせ				○	○	
	<input type="checkbox"/> 旧今 一人暮らしになれば友人に伝える		○				
	<input type="checkbox"/> 旧今 <input type="checkbox"/> 島 日頃から近所づきあいを大切に		○			○	
	<input type="checkbox"/> 旧今 世代間の交流	○	○				
	<input type="checkbox"/> 島 モミジマークに注意				○		
	<input type="checkbox"/> 旧今 情報収集	○					
	<input type="checkbox"/> 旧今 健康は自分から	○	○				
子どもや子育てのこと	<input type="checkbox"/> 島 子どもを見てもらうため祖父母の所へ引越し				○		
	<input type="checkbox"/> 共 情報交換、子育てサロン等へ参加		○	○		○	
	<input type="checkbox"/> 陸 ボランティア活動参加			○			
	<input type="checkbox"/> 旧今 <input type="checkbox"/> 島 情報収集、交流の場へ参加	○				○	
<input type="checkbox"/> 旧今 <input type="checkbox"/> 島 マイ保育園に登録		○			○		
障害者とともに地域で暮らすために	<input type="checkbox"/> 島 仕事をしているほうが本人には良い。						○
	<input type="checkbox"/> 島 郵便も病院に届くように手配				○		
防犯や防災のこと	<input type="checkbox"/> 陸 防犯灯の電気代掛け合い			○			
	<input type="checkbox"/> 島 鍵をかける。				○		
	<input type="checkbox"/> 旧今 災害時用リュックサックを用意	○					
	<input type="checkbox"/> 旧今 タンスを固定	○					
	<input type="checkbox"/> 島 家具転倒防止対策						○
	<input type="checkbox"/> 旧今 近隣と連絡先等の情報交換	○					
	<input type="checkbox"/> 旧今 避難道具の準備	○					
	<input type="checkbox"/> 旧今 情報収集	○					
コミュニティのこと(地域での助け合い)	<input type="checkbox"/> 旧今 近所で声かけ	○					
	<input type="checkbox"/> 旧今 <input type="checkbox"/> 陸 公園清掃等の談話等	○		○			
	<input type="checkbox"/> 旧今 <input type="checkbox"/> 島 若者とのコミュニケーション	○				○	
	<input type="checkbox"/> 陸 おまわりさんと情報交換			○			
	<input type="checkbox"/> 陸 <input type="checkbox"/> 島 隣家空家の世話			○			○
	<input type="checkbox"/> 島 道路沿いの草刈り					○	
その他	<input type="checkbox"/> 旧今 ルール、マナーを守る。	○					
	<input type="checkbox"/> 旧今 まず身の回りの片付け	○					
	<input type="checkbox"/> 島 お金をかけないイノシシ駆除法				○	○	

■困り事への対策「地域でできること」

旧今治市内では「向こう三軒両隣の再生」、「親も子も仲良くなる行事」などの提案があり、陸地部では「子どもから高齢者まで一緒にラジオ体操」、島しょ部では「コミュニティバスの運行」「買い物支援」「地域活動の見直し」などの提案がみられる。

共 市内共通の項目 旧今 旧今治市内の項目 陸 旧越智郡陸地部の項目 島 旧越智郡島しょ部の項目

網掛け項目は「これからやれたらいいこと」、網掛けのない項目は「今やっていること」

	困り事への対策「地域でできること」	旧今治市内		旧越智郡陸地部	旧越智郡島しょ部		
		常盤	日高	菊間	上浦	大三島	関前
お年寄りが住み慣れた土地で暮らすために	共 声かけ、見回り、手紙	○	○	○	○	○	○
	旧今 島 一人暮らし高齢者の実態調査等	○			○		
	共 健康体操、ゲートボール等	○		○		○	
	旧今 陸 敬老会等交流活動		○	○			
	陸 生きがいづくり			○			
	共 食事会、配食サービス		○	○	○	○	○
	島 買い物支援、宅配サービス				○	○	
	島 施設訪問、清掃活動				○		
	旧今 陸 井戸端会議、ミニサロン	○		○			
	陸 自治会での見回り			○			
	旧今 老人クラブの活動見直し		○				
	島 一人暮らし高齢者緊急連絡先把握					○	
	陸 子どもから高齢者まで一緒にラジオ体操			○			
	旧今 島 元気老人育成		○			○	
島 買い物支援、生活手伝い				○	○	○	
島 介護予防相談指導者育成					○		
子どもや子育てのこと	共 一声運動、見守りパトロール	○	○	○	○	○	○
	島 いじめ問題への取組				○		
	島 自主的な子育てサロン活動				○		
	島 放課後児童クラブ					○	
	陸 島 いきいき教室等			○			○
	旧今 子ども会活動への参加		○				
	旧今 島 高齢者と子どもの交流事業		○				○
	旧今 親も子も仲良くなる行事		○				
	旧今 親へ助言、再教育		○				
	陸 親子にふれ合う機会づくり			○			
	島 赤ちゃん見守り訪問の充実					○	
	旧今 ネグレクト等、子どもにアプローチ		○				
	陸 地域の子どもの命、気持ちを守り育てる。			○			
	旧今 登下校の見守り推進員		○				
陸 地域の高齢者が送り迎え			○				
島 不審者対策					○		

市内共通の項目
 旧今治市内の項目
 旧越智郡陸地部の項目
 旧越智郡島しょ部の項目
 網掛け項目は「これからやれたらいいこと」、網掛けのない項目は「今やっていること」

	困り事への対策「地域でできること」	旧今治市内		旧越智郡 陸地部	旧越智郡島しょ部		
		常盤	日高	菊間	上浦	大三島	関前
障害者 とともに 地域で 暮らす ために	<input type="checkbox"/> 共生社会の実現			○			
	<input type="checkbox"/> 一声運動	○					
	<input type="checkbox"/> 民生委員・児童委員による対応				○		
	<input type="checkbox"/> 作業所の方が盆踊りへ参加		○				
	<input type="checkbox"/> 障害者等で海岸清掃				○		
	<input type="checkbox"/> 一人暮らしや身障者の方のマップづくり					○	
防犯や 防災の こと	<input type="checkbox"/> 見守り、夜警	○		○		○	
	<input type="checkbox"/> 防犯、防災活動	○	○	○	○	○	○
	<input type="checkbox"/> 自主防災組織		○	○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 高齢者が寝ている部屋調査						○
	<input type="checkbox"/> 火災報知器・煙感知器設置						○
	<input type="checkbox"/> 防犯灯増設				○	○	
	<input type="checkbox"/> 防犯上の危険箇所チェック		○				
	<input type="checkbox"/> 見守りボランティアの連携		○				
	<input type="checkbox"/> 交通マナーの指導強化		○				
	<input type="checkbox"/> 防災無線の電池交換						○
	<input type="checkbox"/> 自主防災組織の活性化			○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 小地域での防災訓練実施	○					
	<input type="checkbox"/> 防災への意識改革					○	
	<input type="checkbox"/> 自治会で防災対策話し合い	○					
	<input type="checkbox"/> 防災マップ作成	○					
<input type="checkbox"/> 校区の避難場所めぐり	○						
<input type="checkbox"/> 世帯情報把握・管理	○	○					

共 市内共通の項目 旧今 旧今治市内の項目 陸 旧越智郡陸地部の項目 島 旧越智郡島しょ部の項目

網掛け項目は「これからやれたらいいこと」、網掛けのない項目は「今やっていること」

	困り事への対策「地域でできること」	旧今治市内		旧越智郡 陸地部	旧越智郡島しょ部		
		常盤	日高	菊間	上浦	大三島	関前
コ ミ ュ ニ テ ィ の こ と (地 域 で の 助 け 合 い)	旧今 島 声かけ運動、助け合い等	○				○	
	陸 島 1人1役で地域の役割分担			○	○	○	
	共 交流活動	○		○	○		
	陸 行事不参加世帯への罰金徴収			○			
	島 地域行事に帰省した若者に協力してもらう					○	
	島 神官養成経費を部落で助成					○	
	旧今 向こう三軒両隣再生	○	○				
	島 コミュニケーションの場づくり					○	
	旧今 受け止める気持ちが大切		○				
	旧今 何らかの強制的交流が必要		○				
	島 自治会活動費用の充実						○
	島 運動会に地域外の人参加						○
	陸 男性の料理教室を広める。			○			
	旧今 自治会加入ポイント制導入		○				
	旧今 自治会全員が話し合える場	○					
	陸 趣味共通者との交流の場			○			
	陸 ボランティア育成			○			
	共 地域活動組織の見直し	○		○		○	
島 活動内容等見直し、拡大				○	○		
島 昔から続く一合(いちごう)寄りの継続					○		
旧今 島 情報共有	○				○		
そ の 他	旧今 回覧板、貼り紙等で啓発	○	○				
	旧今 ゴミステーションに鍵		○				
	共 ゴミ当番	○		○	○	○	
	陸 島 川、海岸清掃			○		○	
	島 イノシシ対策—地域で囲い				○		
	島 農作物直売所				○		
	島 ラントゥレーベン大三島 ¹					○	
	島 コミュニティバスの運行				○		

¹ 大三島にある滞在型農園施設。

■困り事への対策「自分たちや地域ではできないこと」

旧今治市内では「スクールカウンセラーの充実」「子どもの目で地域を考える機会創出」「防災マップ作成支援」などの意見が出されており、陸地部では「高齢者用広報紙の発行」「各種団体や地域のサポート」など、島しょ部では「福祉タクシー」「U、Jターン者の受入れ」「渡海船の維持」などの意見がみられる。

市内共通の項目
 旧今治市内の項目
 旧越智郡陸地部の項目
 旧越智郡島しょ部の項目
 網掛け項目は「これからやれたらいいこと」、網掛けのない項目は「今やっていること」

	困り事への対策「自分たちや地域ではできないこと」	旧今治市内		旧越智郡陸地部	旧越智郡島しょ部		
		常盤	日高	菊間	上浦	大三島	関前
お年寄りが住み慣れた土地で暮らすために	<input type="checkbox"/> 訪問介護、デイサービス、保健師来訪					○	○
	<input type="checkbox"/> 健康管理啓発活動	○					
	<input type="checkbox"/> 小学校と交流活動		○				○
	<input type="checkbox"/> 福祉タクシー					○	
	<input type="checkbox"/> サービス等の情報公開	○					
	<input type="checkbox"/> 高齢者用広報紙の発行			○			
	<input type="checkbox"/> 事業コーディネート		○				○
	<input type="checkbox"/> 大学と地域の連携で健康づくり事業	○					○
	<input type="checkbox"/> 子どもと高齢者が交流できる自然公園の設置		○				
子どもや子育てのこと	<input type="checkbox"/> 子育てタクシー等	○	○			○	
	<input type="checkbox"/> 子育て支援ガイドブック	○					
	<input type="checkbox"/> 誰でも参加できる行事開催		○				
	<input type="checkbox"/> U、Jターン者の受入れ				○	○	
	<input type="checkbox"/> 行政との座談会						○
	<input type="checkbox"/> 保育体制の充実（時間外保育、一時預り保育等）		○		○		
	<input type="checkbox"/> 教育レベルの確保						○
	<input type="checkbox"/> スクールカウンセラーの充実	○					
	<input type="checkbox"/> 子どもの目で地域を考える機会創出	○	○				
	<input type="checkbox"/> 小児救急医療体制の充実	○					
	<input type="checkbox"/> 医療費等子育て家庭への支援充実			○	○	○	
	<input type="checkbox"/> 子どもの遊び場確保			○			
	<input type="checkbox"/> 図書館ロビーの拡大					○	
	<input type="checkbox"/> 児童館休館日の変更		○				
	<input type="checkbox"/> 小中学校の部活動に高齢者が参加		○				
	<input type="checkbox"/> 学校等で食育授業		○				
	<input type="checkbox"/> 警察等との連携		○				
障害者とともに地域で暮らすために	<input type="checkbox"/> 公民館点字ブロックの移設		○				
	<input type="checkbox"/> 低年齢時から障害児と健常児を一緒に育てる		○				
	<input type="checkbox"/> 公共施設内のエレベーター表示を改善			○			

第3章 本市における地域の生活課題とその対応

市内共通の項目
 旧今 旧今治市内の項目
 陸 旧越智郡陸地部の項目
 島 旧越智郡島しょ部の項目
 網掛け項目は「これからやれたらいいこと」、網掛けのない項目は「今やっていること」

	困り事への対策「自分たちや地域ではできないこと」	旧今治市内		旧越智郡 陸地部	旧越智郡島しょ部		
		常盤	日高	菊間	上浦	大三島	関前
防犯や防 災のこと	<input type="checkbox"/> 陸 防災に関する協議			○			
	<input type="checkbox"/> 旧今 警察の巡回		○				
	<input type="checkbox"/> 旧今 災害時支援		○				
	<input type="checkbox"/> 陸 消防署の現場指導			○			
	<input type="checkbox"/> 旧今 道路の安全確保		○				
	<input type="checkbox"/> 陸 交通ルール講習会			○			
	<input type="checkbox"/> 陸 防犯組織づくり			○			
	<input type="checkbox"/> 陸 <input type="checkbox"/> 島 自主防災組織の大切さを啓発			○	○		
	<input type="checkbox"/> 島 地域防災格納庫の管理見直し					○	
	<input type="checkbox"/> 旧今 <input type="checkbox"/> 陸 防災情報の周知	○		○			
	<input type="checkbox"/> 旧今 研究会等の開催	○					
	<input type="checkbox"/> 旧今 防災マップ作成支援	○					
	<input type="checkbox"/> 旧今 <input type="checkbox"/> 島 台風・高潮対策	○			○		
コミュニ ティのこ と (地域で の助け合 い)	<input type="checkbox"/> 陸 自由に使える会場提供			○			
	<input type="checkbox"/> 陸 各種団体や地域のサポート			○			
	<input type="checkbox"/> 旧今 全ての問題を地域で解決するシステムづくり		○				
	<input type="checkbox"/> 陸 地区の行事やお金の負担方法見直し			○			
その他	<input type="checkbox"/> 陸 物故者情報を無線で流す。			○			
	<input type="checkbox"/> 旧今 ゴミ出しについて呼びかけ		○				
	<input type="checkbox"/> 旧今 ひろう町運動(ゴミ)	○					
	<input type="checkbox"/> 旧今 条例と監視が必要(ゴミ)	○					
	<input type="checkbox"/> 島 しまなみ海道通行料半額に					○	
	<input type="checkbox"/> 島 バス交通の充実				○	○	○
	<input type="checkbox"/> 島 渡海船の維持						○
	<input type="checkbox"/> 島 郵便局の再開				○	○	
	<input type="checkbox"/> 島 インターネット環境の充実						○
<input type="checkbox"/> 陸 海岸の砂取り除き			○				
<input type="checkbox"/> 陸 鉄製のゴミ入れ購入補助			○				

■望ましい地域にするための新たな取組

旧今治市内では「各地区の小さな単位での話し合い」「地域での声かけの徹底」など、島しょ部では「共同で移手段の確保」「買い物支援」「地域検定の実施」「Iターン者が住みつような交流やしきみづくり」などが提案されている。また共通で「小地域のサロンづくり」「福祉コミュニティリーダーの育成・養成」などが提案されている。

市内共通の項目 旧今治市内の項目 旧越智郡陸地部の項目 旧越智郡島しょ部の項目

	望ましい地域にするための新たな取組
各分野共通	<input type="checkbox"/> 小地域のサロンづくり 楽しい寄り合い 空き家活用・学校利用 <input type="checkbox"/> 地域リーダーの育成 <input type="checkbox"/> 福祉コミュニティリーダーの育成・養成 <input type="checkbox"/> 共同で移手段の確保 コミュニティバス 低料金の福祉タクシーなど <input type="checkbox"/> 買い物支援 <input type="checkbox"/> 各地区の小さな単位で話し合い 子どもの参加 住みたい地域について <input type="checkbox"/> 若者が定住するような取組 <input type="checkbox"/> 旧今 <input type="checkbox"/> 既存資源活用による活性化
お年寄りが住み慣れた土地で暮らすために	<input type="checkbox"/> 参加のきっかけづくり <input type="checkbox"/> 小地域で集まれる場所の発見 <input type="checkbox"/> 旧今 <input type="checkbox"/> 気軽に集える場所づくり 人材の確保 <input type="checkbox"/> 旧今 地域で声かけの徹底 <input type="checkbox"/> 地区ごとの相談会 <input type="checkbox"/> 通院、買い物等の移動支援
子どもや子育てのこと	<input type="checkbox"/> 職場の確保が必要 <input type="checkbox"/> 子どもが集まれる小さな広場があればよい
障害者とともに地域で暮らすために	
防犯や防災のこと	
コミュニティのこと(地域での助け合い)	<input type="checkbox"/> 地元の産業・産物を活かす。 ・農産物直売 ・新しい観光交流 (サイクリング・ツーリング・体験農業) <input type="checkbox"/> 島を訪れる人に説明できるよう地域検定の実施 <input type="checkbox"/> ふれあい交流館の再利用 <input type="checkbox"/> Iターン者が住みつような交流やしきみづくり <input type="checkbox"/> NPOによる転入者への借家斡旋 <input type="checkbox"/> ラントゥレーベンを出た後の受け皿づくり
その他	

3-2 ワークショップにおける検討

3-2-1 実施概要

■目的

モデル地区の座談会参加者や社会福祉活動団体の参加を得て、市民・社会福祉活動団体のアンケート調査結果やモデル地区調査結果、及び本市が有する多様な地域特性や生活課題を踏まえ、家庭、地域、行政、事業者等が解決すべき課題の再整理を行い、本市における望ましい地域福祉の考え方、今後の地域福祉施策展開の方向、また地域として重点的に取り組むべき事項の具体的な内容・アイデアについて検討を行うことを目的とした。

特に、現存する共助・つながりや他圏域との交流などの地域資源を、今後活かしていく方向性を探り、新今治市としての具体的な福祉施策の展開に結びつけていくことを目的とした。

■対象

モデル地区座談会出席者、団体座談会出席者及び行政ワークショップ出席者

■時期

平成20年11月

■方法

5グループに分かれて2回開催

■内容

モデル地区座談会の結果をふまえ、地域での生活課題や地域福祉の問題点・課題及び現在の対応方策を再整理し、今後その生活課題を解決していくために必要なこと、福祉のまちづくりの目標、基本的な考え方、本市における望ましい地域福祉を進めるための具体的な考え方について検討した。

【第1回】

モデル地区座談会と団体座談会の結果を踏まえ、川崎医療福祉大学講師より「これからの地域福祉」について話題提供をしていただいた。

また、事務局で用意した「モデル地区座談会結果」の資料を提供した。

作業については、モデル地区座談会結果を踏まえ、地域での生活課題や現在の対応方策を再整理すると共に、家庭、地域、行政、事業者が解決しなければならない今後の課題を抽出した。また、今後、今治市が福祉のまちづくりを進めるための目標（望ましいまちの姿）について、意見交換と議論を行った。

- 「これからの地域福祉」についての話題提供
- モデル地区座談会結果
- モデル地区での検討結果を踏まえて、よりよい地域にするために自分や家庭、地域、行政、事業者が生活課題を解決していくために必要なことを考える。
- 福祉のまちづくりの目標（望ましいまちの姿）を考える。

【第2回】

地域資源を活用した地域福祉について社協職員より話題提供してもらうとともに、第1回目ワークショップの結果について報告を行った。

それを参考にしながら「地域福祉を進めるための基本的な考え方」と「本市で望ましい地域福祉を進めるための具体的な考え方」について話し合いを行った。

- 地域資源を活用した新たな地域福祉の取組について話題提供
- 第1回目のまとめ（様々な生活課題を解決していくために必要なこと、福祉のまちづくりを進めるための目標（望ましいまちの姿））
- 福祉のまちづくりを進めるための目標（望ましいまちの姿）を実現していくために必要なこと、大切にしたいことを検討
- 望ましい地域福祉のあり方を実現していくために、今後の計画づくりに盛り込むべき具体的な内容について検討する。
 - ・共に助け合い住民が各種の活動に参加しやすくするために
 - ・福祉サービスを利用しやすいしくみづくり
 - ・福祉サービスの充実のために
 - ・災害など緊急時の支援やさまざまな生活課題に対応するために

(注) ●:情報提供・共有 ○:座談会での作業・成果

3-2-2 ワークショップの検討結果

福祉のまちづくりの目標

連帯感のある、支えあいのまち

- ・身近で手をさしのべてくれる人がいるまち
- ・声掛けのまち／隣近所がわかるまち
- ・隣近所の人が集まって、気軽に話せるまち
- ・高齢者も障害者も遠慮せずに出掛けられるまち
- ・しまなみ海道のように人のつながりのあるまち
- ・知らない人のいないまち
- ・みんながやさしい今治市
- ・人と心の痛みがわかるまち
- ・人が信頼しあって助け合いを実践するまち
- ・「人」「心」「地域」をつむぐまち

地域間、世代間の交流が活発なまち

- ・高齢者だけ、障害者だけ、母親だけの集まりでなく、いろいろなひとが集まるまち
- ・心のバリアフリーが進んだまち（偏見のない、人権意識のあるまち）
- ・年を重ねたなりに、元気である社会

変化に対応し成長するまち

- ・来島海峡のうず潮のように、新しいことを取り入れて、大きく成長していくまち（片手を常に開けておく）

誇り意識、ふるさと意識の持てるまち

- ・育った地区に住みたいと思うまち、若い人やリタイア後に帰ってきたいまち
- ・ふだんからスーパーで高齢者や障害者を見かけるまち
- ・いつも公園から子どもの声が響くまち
- ・誰もが自然にあいさつを交わせる（している）まち
- ・「教育立国 今治」に住める、いい大学に入れるまち
- ・お金持ちの多いまち

福祉のまちづくりの基本的考え方

連帯感を高め、地域・世代間の交流を深める

- ・田舎に残る人とのつながりをどうやって守り、伝えていくか
- ・あいさつ、言葉をかける
- ・隣同士の声掛け
- ・人のつながりを深めていくことで福祉に対する抵抗感をなくす
- ・地域間での交流（子どもが多いところ、高齢者の多いところ）

主体的な参加をすすめる

- ・市民がつくる市民が参加するまちづくり
- ・いつか自分も高齢者、障害者として困ることを抱えるということ
- ・刻々と変わるバリアを再確認できる機会があること
- ・アイデアを忌憚なく発言したり発信したりする場があること
- ・「ハレ」の取組より「ツネ」の取組を大切に

情報の共有による課題解決

- ・行政情報／避難場所／災害情報
- ・井戸端情報（困っているらしい情報）
- ・生活環境、基本的な対象者の数・年齢を把握
- ・自分の地域に福祉を必要としている人がどれくらい住んでいるかを知っておきたい

人づくり、意識改革による変化への対応

- ・まず自分からやる
- ・人の素晴らしさに助けられ、自分も変わる
- ・何事にも関心を持つ（無関心・個人主義はダメ）
- ・他人や地域に関心を持つことを各人が自覚する
- ・「お互いさま」という気持ち
- ・小さな親切を積み重ねて大きなお世話に
- ・支援する人を育てること
- ・お年を召された方が自己管理できるように
- ・地域で注意しあい、それを受け入れられる地域づくり

住みよいまちづくりを実現する

- ・笑顔で暮らせるまち（あるがままに）
- ・人口増（まちのちから）＝すべての問題が解決しやすくなる（安心して子どもが産めるまち）
- ・金持ちが多いまち（税収が多い。絶対条件ではないが選択肢が増える）
- ・税金を納めることが大事ということを教育
- ・教育立国（人口増の切り札になる）、スポーツ立国（専門性を施設に持たせる）

本市における望ましい地域福祉のあり方

■ 共に助け合い、住民が各種活動に参加しやすくするために

- より多くの住民が参加しやすくするために
- ・子どもが参加しやすいイベントの開催（子ども中心のイベントを実施すると三世代が集まりやすい）
- ・みんなが福祉を考える機会をつくる（「福祉フェアの長期間開催」、「子育てサロンへの高齢者の参加」等）
- ・小地域での話し合いその地域の問題点を共有すること（広報よりも誘い合い）
- ・障害者の困っていることについて、プライベートで地域の人との付き合いがない。話し合いが必要
- ・退職者に参加を呼びかけ。自治会活動などにまず参加していくことで知っている範囲を広げる
- ・事業所に社員の地域活動への参加の義務づけを呼びかける
- 地域と専門機関の連携をスムーズにするために
- ・住民懇談会の開催（小さな部落単位で行えば情報共有とともに地域の課題把握にもつながる）
- ・地域福祉に関する各種コーディネートの窓口をつくる
- 支えあう福祉を担う人材を養成するために
- ・ボランティアの活用（支援、要望・供給のとりまとめ、調整をする場が必要）
- ・子どもへの助け合いの体験、大人の福祉教育が必要
- ・地域事情に通じた福祉活動の核になる人を対象に障害者や認知症の方への対応や研修会を実施する
- ・特技を持っている個人を発掘し、福祉づくりに活かすことが大切
- ・今治市独自の「福祉検定」制度の創設。先生を採用するには福祉の職業経験を条件とする

■ 福祉サービスを利用しやすくするために

- 情報提供・相談支援体制のあり方
- ・福祉サービスを一括して総合的な情報として提供してくれるところが必要（多分野をコーディネートする機関）
- ・福祉サービスの内容、窓口を記載した「福祉手帳」を各家庭に配布し、相談にも活用する
- ・行政の窓口の横の連携（相談者の情報を共有してほしい）
- ・説明会の開催（行政サービスの地域版）。「福祉出会いの会」を創設
- ・福祉サービスを提供するためのハード面の整備（統廃合した学校、空き教室の活用）
- 支援の必要な人が必要な福祉サービスを利用できるように
- ・民生委員の役割が重要。民生委員・児童委員の活動を補助する人を設置する（特に大きな地区）
- ・高齢者は他人の世話にはなりたくないという意識が強い。サービスへの理解促進
- ・「お湯を沸かして待っています」気軽に集える場所があればいい
- ・外国人への対応（地域で通訳できる人・外国語を学びたい人の登録）
- その他
- ・緊急通報システムの整備・拡充
- ・自治会組織の見直し（昔の隣組のような互助組織、地域の課題を吸い上げる組織に）

■ 福祉サービスの充実のために

- より質の高い、多くの福祉サービスが提供されるために
- ・民間の参入により競争環境をつくることでサービスの向上を図る
- ・自分でできる範囲と求める側の要求のマッチング、コーディネート
- ・ヘルパーの待遇改善（時間に追われ事務的な対応）、知識向上（障害者への対応もできるように）
- ・福祉マップを地域で作成（①地域の生活支援サービス、②キーパーソン、③見守り情報（ねたきり・排泄、自動車等の有無）、④危険箇所等小地域でインフォーマルに把握）
- 公的サービスと民間サービスの連携のあり方
- ・ボランティアを上手に活用する（やれることをニーズに活かせる）システム
- その他
- ・問題解決型の小さなグループの組成（解決したら解散）
- ・助け合いを話せる近隣との関係づくり

■ 災害などの緊急時の支援やさまざまな生活課題に対応するために

- 災害・緊急時、要援護者の避難支援のために
- ・自主防災組織の日常的な訓練・意識啓発を行い、忘れないように実地訓練（AEDの扱い方等）を毎年実施
- ・支援が必要な人の情報を日頃から共有しておく（個人情報共有のルールづくりが必要）
- ・精神・知的障害、自閉症の方への災害時の情報伝達、避難場所の検討（パニックになり全国的な問題）
- 多様な生活課題に対応するために
- ・相談窓口の一本化（受付と相談場所は別々に）、周知
- その他
- ・小地域単位での避難対応（集会所の活用）

3-3 行政・関係機関聴取調査の結果

3-3-1 実施概要

■目的

社会福祉法第 107 条に定められた「福祉サービスの適切な利用推進」、「社会福祉を目的とする事業の健全な発達」、「住民の参加の促進」と「災害時要援護者の支援方策」に関する各種施策の現状と課題、庁内外の連携状況、今後の展望等を把握する。

■対象

対象者は福祉サービス関係課と生活課題関連課、及び関連団体とし、以下の通りとした。

行政担当者、関係機関等の聴取調査票リスト

種別	該当部課名及び関連機関名		備考
保健福祉関連	健康福祉部	保険年金課	配布回収
	健康福祉部	健康推進課	配布回収
	健康福祉部	障害福祉課	配布回収、面談聴取
	健康福祉部	高齢介護課	配布回収
	健康福祉部	こども福祉課	配布回収
	健康福祉部	子育て支援課	配布回収、面談聴取
	健康福祉部	援護課	配布回収、面談聴取
	菊間支所	健康福祉課	配布回収
	上浦支所	健康福祉課	配布回収
	大三島支所	健康福祉課	配布回収
	関前支所	住民福祉課	配布回収
	今治市社会福祉協議会		配布回収
	今治市障害者生活支援センター		配布回収
	在宅介護支援センター		配布回収
	手話通訳者派遣事業		配布回収
社会教育・地域防災・地域活動団体等	企画振興部	市民まちづくり推進課	配布回収、面談聴取
	市民環境部	生活交通課	配布回収
	教育委員会	学校教育課	配布回収
	中央公民館	(社会教育課)	配布回収、面談聴取
	消防本部	防災対策課	配布回収
	婦人会	(社会教育課)	配布回収
	P T A 連合会	(社会教育課)	配布回収
	青少年団体連絡協議会	今治市青少年センター	配布回収

■時期

調査時期は平成 20 年 9 月～11 月末とした。

■方法

調査方法は、原則として調査票を、担当者へ直接配布、回収を行った。一部の課については調査票に基づき、面談方式による聴取調査を行った。

■内容

●福祉サービス関連各課の聴取調査内容

- ① 福祉サービスの状況（担当事業概要、現在の課題、今後の展望、他組織との連携状況）
- ② 保健福祉サービスに関するニーズ・評価（利用者ニーズ・評価の把握手法、現行サービスに対する利用者の評価、住民ニーズが高いサービス）
- ③ 福祉サービスに対する需給の状況（量と質）（サービスが多いのに、供給が十分でないサービス、民間も含めた福祉サービスで供給が十分でないと感じているサービス）
- ④ 困難事例とその対応について（保健福祉サービスを行う上で解決が難しかった困難事例、またそれに対する対応内容）
- ⑤ 現在把握している地域の生活課題・社会資源の内容（地域・利用者の生活課題、必要とされるサービス、生活課題を解決している公的・私的な社会資源、その他共助を促進する社会資源、地元的生活課題解決の上でのキーパーソンと思われる人）
- ⑥ 地域福祉計画で取り組んで欲しい施策（地域福祉計画として取り組むべき施策、地域福祉計画と連携が考えられる施策、地域福祉計画策定にあたっての要望、意見）
- ⑦ 今後、今治市が優先的に充実すべき地域福祉の取組

●地域防災・コミュニティ・社会教育関連各課、及び地域活動団体等の聴取調査内容

- ① 地域と密着した事業やサービスの状況（地域と密着した事業の概要、現在の課題、今後の展望、他組織との連携の状況、管轄している施設・地域の活動団体）
- ② 提供している事業や住民サービスに対するニーズ・評価（利用者ニーズ・評価の把握手法、現行サービスに対する利用者の評価、住民ニーズが高いサービス）
- ③ 住民サービスに対する需給の状況（量と質）（公的サービスが多いのに、供給が十分でないサービス、民間も含めた福祉サービスで供給が十分でないと感じているサービス）

- ④ 現在把握している地域の生活課題・社会資源の内容（地域・利用者の生活課題、必要とされるサービス、生活課題を解決している公的・私的な社会資源、その他共助を促進する社会資源、地元的生活課題解決の上でのキーパーソンと思われる人）
- ⑤ 地域福祉計画で取り組んで欲しい施策（地域福祉計画として取り組むべき施策、地域福祉計画との連携が考えられる施策、地域福祉計画策定にあたっての要望、意見）
- ⑥ 今後、今治市が優先的に充実すべき地域福祉の取組

●地域資源に関する基礎資料

- ① 各種団体（公的資源、私的資源）
- ② 人材（公的資源、私的資源）
- ③ 活動拠点・施設関係（公的資源、私的資源）
- ④ 地域の行事・祭（公的資源、私的資源）
- ⑤ 地域の見守り・互助体制・災害等緊急時の対応のしくみ（公的資源、私的資源）

3-3-2 行政・関係機関聴取調査の結果のまとめ

3-3-2-① 福祉サービスに対するニーズ（ニーズが高いサービス、必要性が高いサービス）

福祉サービスに対するニーズが高いサービス、必要性が高いサービスとしては主に以下のような回答があった。

■保健・医療関連サービス

- ・ 救急医療の充実
- ・ 関前地区における医師と保健師の継続確保

■高齢者等の生活支援サービス

- ・ 年金の受給権確保、年金受給額等の情報
- ・ 申請免除制度等各種制度の積極的活用
- ・ 配食サービス、外出支援サービス、生きがいデイサービス、介護予防サービス
- ・ 心身健康維持のための専門家チェック、健康づくりの意識向上
- ・ 交流を大切にするサービスシステム

■障害者関連サービス

- ・ 病院での手話又は要約筆記による通訳、介護サービス、手話通訳のできるジョブコーチ、日常生活用具購入費や補装具費の支給
- ・ 福祉的就労の就労場所

■情報提供、相談支援業務

- ・ 地域や社会福祉、行政サービスなど様々な情報の発信、提供

■低所得者対策

- ・ 低廉な料金で受けることができるサービス
- ・ 生活保護の需要増大への対策、借家保証人サービス

■子育て支援・子どもの健全育成

- ・ 不安を抱える母親に対する地域での支え
- ・ 社会資源の連携、有機的な受け皿づくり
- ・ 受け皿を利用しない母親対策
- ・ 「マイ保育園」、一時保育
- ・ 学力向上、健全育成、子育て支援事業

■交通サービス

- ・ 送迎サービス、移送サービス、福祉バス

■防犯や防災対策

- ・ 交通安全施設の整備
- ・ 災害時要援護者の支援方策、災害時救援ボランティア、災害時の安否情報確認
- ・ 自助、共助強化への取組に対する支援

■地域での助け合いやコミュニティの活性化

- ・ 地域連携体制の充実や見直し
- ・ 住民の交流促進事業、世代間交流事業
- ・ 在住外国人をとりまく生活支援体制、交流促進
- ・ 趣味、教養に関する学習機会の提供
- ・ 施設の利用（会議室、事務室）

3-3-2-② サービスの需給バランス

需要はあるが供給が十分でないサービスとしては、主として以下のような回答があった。

- 介護保険制度など公的制度の対応ができないサービス
 - ・ 生活機能低下者の保健指導
 - ・ 借家保証人サービス、葬祭預託、入院中のペットの世話・植木の水やり等
 - ・ 年度途中での保育所入所、父子家庭支援
 - ・ 夏休み中の障害者（児）レスパイト等利用
 - ・ 低所得者世帯の相談対応、ホームレス対応
- サービス拠点から遠いために訪問介護等の対象外となるサービス
 - ・ 退院後の訪問介護等
 - ・ 島しょ部の障害福祉サービス
 - ・ 医療、介護保険、特定高齢者関係サービスの提供区域外の対策
- 権利擁護など制度はあるが理解が十分でないもの
 - ・ 認知症が悪化した場合の成年後見制度への移行等
- 施設やサービス、人材が絶対的に不足しているもの
 - ・ 配食サービス、介護保険施設
 - ・ 知的障害者（児）施設、精神科医療施設
 - ・ 程度に応じた知的障害者（児）の活動の場、身体障害者入所施設
 - ・ 手話ができる職員
- 緊急時の対応
 - ・ 多数の避難者が出た場合の避難支援等の対応
- 地域での理解が進んでいない事項
 - ・ 地域で暮らす障害者や家族への支援
- 地域ではどうしようもないもの、解決が難しいもの
 - ・ 旧今治市以外での通院介助、通所、買い物等交通弱者の移動手手段の確保
 - ・ サービス利用にかかる交通費対策

3-3-2-③ 生活課題とそれを解決している社会資源

さまざまな生活課題が出されたが、その解決に向けては主に以下のような回答があった。

- 各分野共通の解決に向けて
 - ・ 地域の助け合い
 - ・ 公民館で学習会、研修会開催
 - ・ 地域単位で各種団体の連携によりコミュニティ活動の実施
- (キーパーソン)
 - ・ 家族、知人、近隣住民、民生委員・児童委員、老人クラブ、婦人会、ボランティア、自治会
 - ・ 行政等：市職員、保健師、社会福祉協議会、消防団員、警察、診療所医師
- お年寄りが住み慣れた土地で暮らすために
 - ・ 地域ケア体制の構築、地域密着型サービス等の基盤整備
 - ・ 在宅サービスの基盤整備、地域での見守り、声のかけあい
 - ・ 介護施設の公開日設定、実情把握
- 子どもや子育てに関すること
 - ・ 主任児童委員その他による子育て支援活動、地域団体による子どもの見守り活動

- ・ 家族団らんのきっかけづくり
- ・ 保育所等での情報提供、情報交換の場の確保
- ・ 男女共同参画センターの早期実現、子育て支援の情報発信の中核センター設置
- ・ 子どもの老人ホーム訪問等の機会を提供
- ・ 地域の危険箇所を把握し対策、保護者の安全対策に対する意向把握
- ・ 「青色灯装着車両による防犯活動」、「今治こども安心パトロール隊」等（こどもパトロール隊）

■障害者と共に地域で暮らすために

- ・ 市職員と民生委員・児童委員の訪問、見守り
- ・ 障害者と健常者の交流機会、生きがいの場の推進

(キーパーソン)

- ・ 手話サークル会員、家族会、障害者団体連合会、身体障害者相談員、知的障害者相談員、相談支援事業者、病院の支援員

■防犯や防災のこと

(キーパーソン)

- ・ 自主防災組織

■コミュニティや地域での助け合いのこと

- ・ 地域でのあいさつ運動、地域の「お宝マップ」づくり
- ・ 食文化をきっかけとした外国人との交流会開催、企業を通じて地域情報配布
- ・ 地域運動会などを学校と一緒に開催
- ・ 伝承活動の場づくり(高齢者の生きがいのづくり)、伝統行事の実施方法の見直し
- ・ 「まちづくり協議会」の立ち上げ

■その他

- ・ 高齢者、障害者などの交通手段の確保
- ・ ゴミの当番制による意識向上、モデル地区選定など

3-3-2-④ 今後連携が必要な組織・機関、連携したい内容

今後連携が必要な組織、機関、連携内容としては以下のとおりであった。

■各分野共通

- ・ 関係機関、各種団体との連携システムの構築
- ・ 関係機関等の共同研修の開催等

■高齢者が住み慣れた地域で暮らすための連携

- ・ 高齢者の相談機能を有する機関の連携（地域包括支援センター、在宅介護支援センター他）
- ・ シルバー人材センター
- ・ 老人クラブ
- ・ 高齢者のケアマネジメント体制充実のために（地域包括支援センターと保健師）
- ・ 高齢者の安否確認とニーズ把握のために（社会福祉協議会と民生委員・児童委員）

■障害者と共に地域で暮らすために

- ・ ケアマネジメント体制のために（相談支援事業者、保健師と精神保健福祉士の連携）
- ・ 医療現場従事者と手話通訳者
- ・ 福祉施設での就労と生活支援
- ・ 学校教育と福祉

■子育て支援のための連携

- ・ 健康福祉の事業全般における連携
- ・ 医療、保健、介護、子育てとの連携（障害者（児）の総合バックアップ）
- ・ 高齢者と子育て親子の交流連携

■災害時要援護者の避難支援・安否確認および地域での助け合い推進のための連携

- ・ 福祉部局、防災部局、民生委員・児童委員、自主防災組織、社会福祉協議会、ボランティア等
- ・ 自治会と自主防災組織との連携

3-3-2-⑤ 地域福祉計画への提案

地域福祉計画への提案としては、主として以下に掲げる項目について提案がなされた。

■地域で共に助け合い、住民が各種活動に参加しやすくするためのしくみづくり

□支え合う福祉を担う人材の発掘、育成、組織化

- ・ 福祉NPOやボランティア
- ・ 福祉教育、ボランティア教育
- ・ 相談・見守りの人材発見・育成、組織化
- ・ 地域住民の福祉推進体制（ネットワーク）の形成支援
- ・ 身近なところで傾聴してくれる人材
- ・ 地域福祉まちづくりリーダー
- ・ 「青色灯装着車両による防犯活動」、「今治こども安心パトロール隊」等（こどもパトロール隊）

□地域と専門機関の連携をスムーズにするために

- ・ 小地域での行政サービスをコーディネートし、問題発見の中心的役割を担える人材の発見、育成、組織化
- ・ 民生委員・児童委員、自治会役員等とのコミュニケーションによる、表面に現れない問題発見
- ・ 市職員が率先して参加できるメニュー提供、ボランティア教育、意識の向上

■福祉サービスを利用しやすくするために

□情報提供や相談支援体制（相談窓口）の整備

- ・ 住民の相談など地域住民で支援できる相談窓口の確保
- ・ 相談に対する専門性のある支援
- ・ 多種多様な相談に対して包括的にスムーズに問題が解決できる人員の確保と配置

□支援が必要な人が適切なサービスを利用できるようにするために

- ・ 介護予防を身近で実践できるための場、人、機会を提供できる政策
- ・ ケアマネジメント体制の確立

- ・ 障害者の在宅サービスの充実
- ・ 福祉サービス（公的資源、私的資源）の把握、有効活用できる基盤整備
- ・ 支援を必要としている人々を地域全体で支え、誰もが住み慣れた地域で自立した生活が送れるしくみを総合的な立場で構築

■福祉サービスの充実のために

□より質の高い、多くの福祉サービスが提供されるために

- ・ 保健・福祉・介護・子育ての連携による総合保健福祉サービスの提供
- ・ 一人親家庭支援の充実（特に父子家庭）
- ・ 地域住民活動の促進支援や地域住民の専門的な能力等を活かす行政のしくみづくり
- ・ 本庁職員と支所職員連携による包括的地域福祉支援体制づくり
- ・ 実態把握情報に基づく困難ケースへの対応
- ・ 安心して子育てができる環境づくり
- ・ 地域特性に応じた医師・保健師の確保
（障害者（児）サービスの充実）
- ・ 「発達障害児」への理解と地域での支援
- ・ それぞれの障害の特性を考慮した施策の対応（バリアフリーなどを進める際に考慮）
- ・ コミュニケーション障害・情報障害等外見でわからない障害においても情報を共有できるように

□明るく元気な住民が増え、安心して暮らせるための予防的な福祉サービスの充実

- ・ 健康増進事業や予防事業の実施、ボランティア活動の活性化をめざして人材育成事業の実施
- ・ 寝たきりや認知症にならないための予防対策
- ・ 親や障害のある子どもの介護で疲れた家族への支援システム

■災害などの緊急時の支援や様々な生活課題に対応するために

□災害などの緊急時の支援のために

- ・ 保健福祉活動に関する災害時対応マニュアルの作成
- ・ 災害時における高齢者の避難誘導及び関係団体との連携システムづくり
- ・ 一人暮らし高齢者や障害者等で自主避難が困難な市民については、行政と自主防災組織が情報共有
- ・ すべての住宅に住宅用火災報知器の設置
- ・ 地域福祉計画のあらゆる面で防災の視点をもつ
- ・ 耐震診断、耐震改修、備蓄の促進、自主防災組織の育成

□その他の生活課題に対応するために

（一人暮らしや虚弱な高齢者等への支援対策）

- ・ 生活支援事業、相談支援、コミュニティ支援
- ・ 支援が必要な人達を、閉鎖的・孤独感に陥らせないため、「地域ぐるみ」の支援

- ・ 身寄りのない方の入院・入所時の保証人、連絡先対応や金銭管理
(交通支援サービスの充実)
- ・ 交通手段の確保 (交通弱者に共通した移送システムの構築)
 ※板橋区STS・移送サービスの例
- ・ しまなみ海道通行料に対する助成措置
(その他)
- ・ 空き家の有効活用
- ・ 自治会等地域団体の連携による身近な支援体制づくり (ゴミ出し、電球替え等)

■地域福祉計画策定のために

- ・ 住民参加型の計画策定
- ・ 総合計画に基づいた計画策定

